

# 学会の歩み

## 歴史地理学紀要

号	年	表題	序文執筆者
1	1959	本質と方法	菊地 利夫
2	1960	地域の変貌	菊地 利夫
3	1961	流通の歴史地理	浅香 幸雄
4	1962	アジアの歴史地理	別技 篤彦
5	1963	考古地理学	小牧 実繁
6	1964	産業革命期前後の歴史地理学	三友国五郎
7	1965	開発の歴史地理	山口恵一郎
8	1966	明治後期の歴史地理	浅香 幸雄
9	1967	集落の歴史地理	岸本 実
10	1968	集落の歴史地理続	山口恵一郎
11	1969	生産の歴史地理－第一次産業を中心として－	籠瀬 良明
12	1970	生産の歴史地理－第二・三次産業を中心として－	中田 栄一
13	1971	海洋・海岸の歴史地理	山口平四郎
14	1972	人口・労働力の歴史地理	上田 正夫
15	1973	文化圏の歴史地理	米倉 二郎
16	1974	交通の歴史地理	藤岡謙二郎
17	1975	行政区画の歴史地理	太田 晃舜
18	1976	災害の歴史地理	稻見 悅治
19	1977	都市の歴史地理	藤岡謙二郎
20	1978	村落の歴史地理・再び歴史地理学の本質と方法	矢嶋 仁吉
21	1979	地図と歴史地理	織田 武雄
22	1980	河川・湖沼の歴史地理	喜多村俊夫
23	1981	山地・高原の歴史地理	千葉 徳爾
24	1982	島嶼・半島の歴史地理	大村 肇
25	1983	近代の歴史地理	浮田 典良
26	1984	都市・村落関係の歴史地理	高野 史男
27	1985	空間認知の歴史地理	谷岡 武雄
28	1986	情報・交通の歴史地理	中島 義一
29	1987	治水・利水の歴史地理	細井淳志郎
30	1988	行政の歴史地理	山寄 謹哉
31	1989	盆地の歴史地理	小林健太郎
32	1990	変革期の歴史地理	青木 栄一

# 大　　会

第1回（昭和33年度）大会 1958年4月29日 於 日本大学

福井好行：阿波の条里

水野時二：尾張条里の遺構の研究

籠瀬良明：歴史地理研究成果の現代的意義

樋原只好：古代・中世初期における印度洋の海上交通について

宮川善造：メソ・アメリカ熱帯林における古代文明の発祥

別技篤彦：モジョバイト王朝時代のジャワ

千葉徳爾：中世山林の崩壊

池浦正春：新田と散村問題

長井政太郎：地主の発達の地域的相違

菊地利夫：新田開発の地域構造とその機能

佐々木清治：助郷村の諸問題

浅香幸雄：宿場町研究の視角

岩田孝三：政治地理学における歴史地理の取扱い

第2回（昭和34年度）大会 1959年4月26日 於 立教大学

〔自由論題〕

矢ヶ崎孝雄：飛驒国内における商品流通

風間觀靜：奥州街道に関する一考察

黒崎千晴：明治前期の米の流通

板倉勝高：日本における化学工業の展開

〔シンポジウム〕

藤岡謙二郎：歴史地理学の本質

河野通博：現代歴史地理学への批判

池浦正春：歴史地理学の資料としての古文書の機能と限界

浅香幸雄：近世文書のとりあつかい方—資料の構造的把握法—

第3回（昭和35年度）大会 1960年4月21・22日 於 立教大学

石田 寛：岡山県の条里について

福井好行：阿波の国府とその付近の条里

水野時二：濃尾平野地域における条里坪付の問題点

神尾明正：安房の条里と関東造盆地運動

〔シンポジウム：関東地方の歴史地理〕

三友国五郎：北関東の条里

安田初雄：奥州相馬の所謂妙見神馬の牧について

浅香幸雄：国府の位置—関東の事例—

中丸和伯：下総北西部における中世の村落構造

山㟢謹哉：関東における近世村落の住民構成に関する一・二の検討

菊地利夫：新田開発からみた北関東と南関東

〔巡検〕内閣文庫見学（案内者、浅香幸雄）

（以上報告 通5 3～5 1960, 紀3 219～221 1961）

第4回（昭和36年度）大会 1961年4月20日 於 明治大学

〔自由論題〕

菊池一雅：ヴェトナムの近代化とその地域性

田中豊治：伝石見風土記の書写本について

浮田典良：畿内の綿作とその衰退

神尾明正：わが国の先史編年—先史地理学の立場から—

〔シンポジウム：東南アジアの歴史地理〕

木村 宏：13～14世紀中国書にあらわれたフィリッピン群島の諸国

別技篤彦：シンガポール獲得にいたるまでのラッフルズの地域選択の歴史

中島健一：東南アジアの奴隸制度について

（以上報告 通9 3～5 1961, 紀4 218～220 1962）

第5回（昭和37年度）大会 1962年5月1日 於 日本大学

〔自由論題〕

菊池一雅：インドシナの旅

末尾至行：イスラム都市とその近代化

〔シンポジウム：考古地理学〕

藤岡謙二郎：考古地理学の性格と課題

小野忠熙：考古地理学としての実例

伊達宗泰：大和における古墳分布の地理的考察

足利健亮：律令時代の地方官衙の規模について—主として文献からのアプローチ—

（以上要旨・所見 通14 3～11 1962）

第6回（昭和38年度）大会 1963年4月4日 於 日本女子大学

〔シンポジウム：産業革命期前後の歴史地理〕

板倉勝高・井出策夫：わが国産業革命期における京浜工業地帯の形成

山口恵一郎：産業革命期と都市の地域中心性

黒崎千晴：中央日本の都市網とその再編成

西村睦男：産業革命期における都市および農村の工業

浅香幸雄：明治末の東海地方の諸相—静岡・清水を中心として—

（以上要旨・所見 通19 2～9 1963）

第7回（昭和39年度）大会 1964年4月1日 於 立教大学

〔シンポジウム：開発の歴史地理〕

山口恵一郎：地域名称とその意義—地域形成の歴史地理—

中丸和伯：室町末期の東国の開発

菊地利夫：九十九里平野に開発された町人請負新田の村落構成

佐々木清治：明治期を中心とした石狩川中流域江別の開発

猪俣好光：富士川沿岸における氾濫と古地図

河野通博：新中国の水利建設

竹内淳彦：阪神工業地帯の構造変化

山口守人：伝統工業の近代化

田村正夫：明治前期における製糸業地域

(以上要旨・所見 通24 3~19 1964)

第8回（昭和40年度）大会 1965年4月1日 於 日本大学

[シンポジウム：明治後期の歴史地理]

山本正三：明治後期における清水市付近の農業景観

山田邦彦：甲府盆地東部の戦後における果樹園地帯の変貌

田村正夫：明治後期における製糸業地域の変貌

清水靖夫：明治の官製地図類

黒崎千晴：明治後期における地域内交通の変容

矢ヶ崎孝雄：明治後期における石川県下の交通

岸本 実：明治後期における日本の人口の都市集中

(以上要旨・所見 通29 4~17 1965)

第9回（昭和41年度）大会 1966年3月30日 於 専修大学

[共同課題：集落の歴史地理]

山崎謙哉：生田付近の変貌

田里友哲：沖縄の集落

黒崎千晴：近代都市研究の課題

中島義一：近世都市研究の課題

吉川博康：甲州道中布田五ヶ宿について

大村 肇：タイの村落と都市

浮田典良：北ドイツの村落研究とその課題

三友国五郎：先史集落の課題

佐々木清治：条里集落研究の課題

藤岡謙二郎：集落の歴史地理学的研究の回顧と反省

(以上要旨・所見 通34 3~15 1966)

第10回（昭和42年度）大会 1967年4月3日 於 東京都立大学

[共同課題：集落の歴史地理]

水谷 隆：新潟機業の成立と発展過程

大越勝秋：和泉地方における宮郷と農業用水・共有山

藤本利治：宗教都市研究の地理的諸問題

水野時二：古代史からみた代と条里の田積について

稻見悦治：六甲山頂の休養地化について

菊地利夫：片品川上流の近世山村林業の盛衰と再検地問題について

丹生谷章：五つの屋根型とアフリカ

小栗 宏：メキシコの土地利用と土地所有

石田 寛：マオリの集落

安田初雄：福島・米沢盆地間交通の歴史地理的考察

長井政太郎：中世集落研究の手がかり

谷岡武雄：東海地方における散居集落と在家の問題

渡辺久雄：松尾神社領東郷庄中分図と集落

(以上要旨・所見 通39 1~19 1967)

第11回（昭和43年度）大会 1968年4月5日 於 法政大学

〔共同課題：生産の歴史地理一とくに第一次産業を中心として一〕

青木英一：四日市工業地区の形成

青木栄一：第一次産業地域における地方鉄道の建設

澤田 清：農山村地域における物資購入先の変化について

長岡 顯：第二次大戦後の山形盆地における桃栽培の展開

村上節太郎：近代以前における柑橘栽培地域の展開

金井忠夫：近世片品川流域の山村の年貢率とその実態

矢ヶ崎孝雄：手取川渓谷における耕地利用の変遷

松村安一：常陸北部における近世の林業

浅香幸雄：近世期における清見渦の漁業紛争

喜多村俊夫：江戸期治水論の発展と地域的性格

(以上要旨・所見 通44 2~17 1968)

第12回（昭和44年度）大会 1969年4月24日 於 大正大学

〔共同課題：生産の歴史地理一第二次・第三次産業を中心として一〕

足利健亮：恭仁京時代の相楽郡について、第1報、現景観の観察・測定にもとづく恭仁京朝堂院・内裏・宮域および恭仁京域考

小林健太郎：中世後期の地方的中心集落の研究について

長井政太郎：山形県下の稲作の改良

山口守人：遠州地域の近代化（第1報）—遠州織物工業地域の形成—

竹内淳彦：機械工業地域発生の基盤—明治期を中心として—

井出策夫：地方地場産業の変遷—兵庫県豊岡の鞆襄工業の場合—

板倉勝高：真継錬物師の分布と残存形態

黒川千晴：明治期、鍛工の分布とその変動

末尾至行：水力開発=利用の歴史地理—水車段階から水力発電段階へ—

山崎久雄：越後における河川交通の類型

矢守一彦：ドイツ中世都市の広場について

(以上要旨・所見 通49 2~21 1969)

第13回（昭和45年度）大会 1970年4月25日 於 立教高校

雨宮正子：富士川の水運

服部昌之：大規模条里地域の周辺一大和盆地の場合—

田村勝正：明治30年代における仙台湾築港運動

青木栄一：戦後におけるイギリスの運河の変遷  
大島襄二：採貝採藻漁村と浅海養殖漁村—大村湾の真珠養殖の生いたち—  
島田正彦：西ヨーロッパ漁民の新大陸タラ通漁  
田中豊治：水産物流通における産地市場と消費地市場の結合関係について  
矢ヶ崎孝雄：能登半島の海と人  
川上喜代四：わが国における海の地図の変遷  
山岡政喜：沿海生活と“時間”  
(以上要旨・所見 通54 3~22 1970)

夏季臨時大会（長野県地理学会・長野県教育委員会と共に） 1970年8月4・5日 於 本州大学

山口守人：関東地方における人口の振子現象の地域的差異について  
原田 栄：長野県の新聞配布地域  
白井恒文：上田盆地の条里遺構  
浅沼 操：富山県東部の地域生産と割替制度  
山澄 元：近世における郷の歴史地理学的意義  
市川健夫：長野県の稻作の史的展開  
宮地忠明：浅間山周辺における入会地解体と境界との関連性  
佐々木清治：入会地の地域性—静岡県の場合—  
田中豊治：本邦内陸地域における水産物の流通  
町田正三：明治前期における上田地域の製糸業について  
末尾至行：明治時代における上田・小諸の水車  
菊地利夫：幕藩体制下における長野県の扇状地の用水問題  
黒坂周平：中世における塩田文化

〔特別講演〕

浅香幸雄：近世期における集落の発達について—その研究法を中心として—  
〔巡検〕 塩田地域（案内者、高野豊文・遠藤憲三・黒坂周平・矢島豪）、北国街道・中山道・霧ヶ峰（案内者、高野豊文・市川健夫）  
(以上要旨・所見・報告 通56 1~25 1970)

第14回（昭和46年度）大会 1971年4月2・3日 於 専修大学

〔共同課題：人口・労働力の歴史地理〕

天井勝海：日本の人口変動  
北林吉弘：明治以降の北海道移住—特に富山県の場合—  
宮崎礼次郎：東北の人口移動と出生低下について  
田中方男：人口移動の一形態としての壳菓行商—備中壳菓の場合—  
菊池万雄：在来工業における労働力需給の変質—東日本における二・三の和紙製造地域を例に—  
川崎 敏：本邦における若年労働力流出の地域的変容  
山崎謹哉：羽州角田二口村の戸口の歴史地理的考察  
坪内庄次：近世飛驒国人口論（第1報）  
田中豊治：隠岐における長崎俵物生産・流通の歴史地理的研究  
村松安一：わが国における海運業発展の展望

浅香幸雄：近世後期における多摩川中流地域の農間稼

〔巡検〕東京都公文書館・財団法人紙の博物館（案内者、菊池万雄・吉原健一郎・中島義一）

（以上要旨・所見・報告 通59 2~21 1971）

第15回（昭和47年度）大会 1972年3月31・4月1日 於 駒沢大学

〔共同課題：文化圏の歴史地理〕

松原義継：宗門改帳よりみたる高須輪中・本阿弥新田の戸口増減

田中豊治：但馬漁業の展開過程と流通構造

田村正夫：首都圏の都市成長前線帯における商家の形成—埼玉県毛呂山町の場合—

内田 実：北海道における居住圏の拡大と土地利用の変貌

山田安彦：律令国家の漸移地帯における局地的文化圏

菊地利夫：「七里ヶ法華」の歴史地理学的研究

佐藤甚次郎：日本の民家の文化系統—民家の地理学的研究における文化系統—

千葉徳爾：中国湖南省におけるヤオ族文化の痕跡

別技篤彦：食人慣行社会の変容過程

〔巡検〕川越市内（案内者、中島義一・岡村一郎・斎藤貞夫）

（以上要旨・所見・報告 通64 2~24 1972）

第16回（昭和48年度）大会 1973年4月2・3日 於 東京学芸大学

〔共同課題：交通の歴史地理〕

阿部和夫：沢内盆地の土地改良と農業の変貌

野崎清孝：水利集団の形成と水利構造—大和国忍海郡もど川筋の場合—

梶川勇作：明治期の行政上の町と村—「地方行政区画便覧」の分析—

田中豊治：近世末期における隱岐水産物流通の推移

青木栄一：交通における歴史地理学的研究の系譜

金坂清則：上野・下野の古代交通路と駅家

水田義一：防長の古代交通路

千田 稔：古代イタリアの港津址について

丸茂武重：古代の駅とその立地について

足利健亮：吉備地方の古代地理—山陽道の復原を中心に—

山田安彦：陸奥の古代交通路研究に関する二・三の問題

山本光正：近世における民間交通施設—箱根・和田峠の施行所について—

村瀬正章：伊勢湾をめぐる海運の歴史地理学的研究—知多の廻船と沿岸交通を問題として—

丹治健蔵：領主権力と河川水運の統制—関東地方の場合—

富岡儀八：陰陽交通路と交通圏の歴史的分析—塩道を主体としてみた—

矢ヶ崎孝雄：奥能登における内陸交通

長井政太郎：置賜盆地の交通

〔巡検〕武藏国分寺と国衙（案内者、田村勝正）

（以上要旨・所見・報告 通69 3~23, 通70 7~18 1973）

夏季臨時大会（越中史壇会と共に） 1973年8月23・24日 於 富山大学

米原 寛：富山藩における町人文化の地域性

- 菊池万雄：近世における別所村について  
高瀬 保：富山藩における高持（地主）について  
浅沼 操：割替制度の成立  
小松和生：幕藩制下の農業—農民層分解をめぐる若干の覚書—  
新藤正夫：明治期における北海道移民の送出地域の分析  
橋本芳雄：古代北陸地方の文化地理  
服部昌之：近江条里の基礎的研究  
石原与作：越中国新川郡条里の歴史地理学的研究  
永野征男・水島一雄：豊川市における核心地域の変容  
竹内伸一：高岡銅器工業の経済地理的考察  
佐藤甚次郎：北陸の民家の特質に関する二・三の考察  
〔特別講演〕  
植村元覚：わが国諸地方の壳薬業における地域形成の過去と現在  
浅香幸雄：北陸地方における集落（村落）の階層構成  
〔巡検〕富山平野（案内者、植村元覚・竹内伸一・北林吉弘・新藤正夫・石原与作）  
(以上要旨・所見・報告 通71 6~8 1973, 通72 8~24, 通73 7~18 1974)  
第17回（昭和49年度）大会 1974年4月2日 於 日本大学  
〔共同課題：行政区画の歴史地理〕  
平岡昭利：明治前期における家島諸島の三つの浦—3集落間の異質性を問題として—  
山田邦彦：鳥取県における二十世紀梨栽培地域の形成  
菊池万雄：寺院過去帳よりみた善光寺地震被害  
籠瀬良明：明治初年における埼玉平野の自然堤防の綿作  
山田正浩：朝鮮の行政区画—郡を中心にして—  
宮地忠明：福島県における入会問題と境界形成の関連性  
大越勝秋：行政区画境界線の根拠  
林 正巳：明治初期における府県区画設定についての疑惑—鼠ヶ関地区—  
池田善昭：島根県の行政区画制定の過程と意義—明治年間の県域をめぐる紛争について—  
井戸庄三：明治初期の大区小区制について  
佐々木清治：明治前期における地方行政区画の変遷  
桑原公徳：飛彈国の条里制遺構と古代田積  
服部昌之：古代の直線国境について  
山田安彦：古代東北における城柵と郡界に関する問題  
川村博忠：元禄国絵図の調整と国境整備—筑前国境の場合—  
白石太良：島根県東部における近世郷（庄）域と明治行政領域  
太田晃舜：海洋の行政区画に関する歴史地理的考察  
(以上要旨・所見 報74 4~18, 報75 10~15, 報76 6~18 1974)

第18回（昭和50年度）大会 1975年4月1・2日 於 京都大学

〔共同課題：災害の歴史地理〕

小川都弘：20世紀前半のアメリカ合衆国南部における土壤侵食

- 立石友男：日本海沿岸北部における海岸防災林の造成
- 村瀬正章：千拓新田における災害の歴史地理—三河国平七新田を例として—
- 伊藤安男：輪中の災害と治水—宝暦治水の再評価—
- 伊藤重信：長島輪中地域の水害と新田開発の歴史地理
- 松原義継：高須輪中の水害についての考察
- 田村勝正：仙台藩における災害の歴史地理
- 菊池万雄：天明飢饉の一考察（八戸藩・盛岡藩）
- 池田雅美：岩手県における冷害対策の歴史地理
- 菊地利夫：近世九十九里浜における不漁に対する領主と漁民の行動のちがい
- 千葉徳爾：大和十津川地域における明治22年の水害
- 籠瀬良明：自然堤防集落の水害事例
- 長谷正紀：駅家・駅路跡復元への一試考
- 金田章裕：自然堤防の発達と島畠景観の形成
- 戸祭由美夫：伊勢国奄芸郡の郡家と条里
- 大脇保彦：土佐における条里地割復元について—その基準線の問題を中心に—
- 白井恒文：信濃国更級郡村神郷と条里遺構
- 千田 稔：ミヤケの地理的実体—立地と阡陌の問題—
- 木下 良：災害による国府の移転
- 藤本孝一：近衛家領山城国富家殿について
- 田畠久夫：揖斐川上流の木地屋関係集落の崩壊過程—小津の場合—
- 池野 茂：琉球三十六島の一考察
- 山澄 元・森島允子：近世における大和国興福寺領若槻村
- 〔巡検〕伏見・宇治方面（案内者、藤岡謙二郎・浮田典良・足利健亮・金田章裕）  
草津・近江八幡方面（案内者、小林博・小林健太郎）  
大阪市内—上町台地の変遷—（案内者、位野木寿一・山崎俊郎・武藤直）
- （以上要旨・所見・報告 報79 20~25, 報80 2~19, 報81 14~32 1975）
- 第19回（昭和51年度）大会 1976年4月29・30日 於 日本女子大学
- 〔共同課題：都市の歴史地理〕
- 日野尚志：軍団の歴史地理学的研究—西海道を中心にして—
- 木下 良：国府の「十字街」について
- 野崎清孝：大和国穴師郷の地域構造
- 土田良一：上諏訪宿の困窮過程と地域構造—伝馬役助成としての問屋口銭—
- 南雲栄治：榛名神社の門前町における歴史地理学的研究
- 小林健太郎：戦国末期土佐国における地方的中心集落—高岡郡黒岩新町の事例—
- 二見明子：明治後期栃木県における中小都市の商業構成
- 田村正夫：埼玉県における20世紀初頭の商店分布
- 中島義一：三河国諸都市の定期市
- 金坂清則：近世～明治前期の新潟に関する歴史地理学的考察
- 樋口節夫：岐阜市の中心街区の形成と移動

中林 保：近世鳥取藩の城下町

菊地利夫：藩領経済圏における城下町商業の盛衰、とくに郷分地商業の発達に関する一水戸・川越の場合

浅香幸雄：近世期における神奈川湊ぞい宿村の農間渡世

斎藤実則：鉱山町の機能と構造—羽州・松岡鉱山の場合—

井出策夫：明治後期における東京の工業的土地区画整理事業について

脇田武光：都市の地価（地代）勾配に関する研究史とその形成要因

〔巡検〕青梅地方（案内者、木村東一郎）

（以上要旨・所見・報告 報86 25~41, 報87 35~46 1976）

第20回（昭和52年度）大会 1977年4月30日～5月2日 於 広島大学

〔20周年記念講演〕

菊地利夫：歴史地理学における最近の動向

米倉二郎：歴史地理学の伝統と課題

〔自由論題〕

土田良一：甲府町方の人口動態

中島義一：徳川將軍家御殿の歴史地理的考察

重見之雄：塩田の所有形態と近代塩田地主の地域的性格

〔共同課題：歴史地理学の本質と方法〕

安田喜憲：先史地理学の方法と課題

小野忠熙：歴史地理学における考古地理学の任務と効用

千田 稔：形態と象徴—方格プランの場合—

木原克司・田畠久夫・服部昌之：H.C. ダービーの歴史地理学

〔共同課題：村落の歴史地理〕

日野尚志：南海道の駅路—阿波・讃岐・伊予・土佐四国の場合

丸茂武重：縁海国について

山田安彦：都城的集落の機能と象徴

神尾明正：環状・馬蹄形見塚の歴史地理

南雲栄治：榛名山南東麓における井出村の集落移動について

野崎清孝：生月島の触とかくれキリストン組織

田中豊治：離島村落の構造と変貌（第1報）—離島振興法の施行と個々の離島の自己評価—

田畠久夫：ムラヅクリ後の木地屋集落の変貌—糸魚川市大所木地屋の場合—

橋本征治：隠居制よりみた四国の山村社会

牧野洋一：九州中部山村の社倉の分布とその意義

細井淳志郎：東海筋における助郷村に関する諸問題について

井戸庄三：明治6～10年の町村合併と新町村名

竹内啓一：地中海地域における廃村の意義

〔巡検〕広島近郊、宮島・岩国付近（案内者、米倉二郎ほか）

（以上要旨・所見・報告 報92 14~49 1977）

第21回（昭和53年度）大会 1978年4月1日 於 国学院大学

〔共同課題：地図と歴史地理〕

- 小野寺 淳：北関東農村荒廃と浄土真宗移民によるその復興
- 樋口政則・佐藤徳行：龍岡五陵郭と田野口藩
- 山本 実：結城朝光と結城館について
- 南雲栄治：浅間火山北麓における鎌原村の歴史地理学的研究
- 浅香幸雄：明治中期における静岡県中部の主要村民の生業
- 田中方男：ポイティングル図に現われた現位置比定とその方法論について、主としてイタリア・イギリスを例として
- 水田義一：莊園図の利用状況一二枚伝わる絵図をめぐって—
- 山田安彦：平泉古図からみた地域計画の理念
- 川村博忠：正保国絵図の調進について
- 清水靖夫：迅速測図の内容について
- 伊藤安男：古地図からみた輪中災害
- 斎藤貞夫：武州新河岸川舟運と熱海温泉入荷について
- 前田吉穂：都市と民族—人生儀礼を中心として
- 千葉徳爾：韓辺外について
- 村井誠人：デンマークの国名とその歴史地理的考察
- 長谷正紀：古代交通路の一試考
- 神尾明正：千葉県館山市東長田1967年断面祭祀遺跡の断面計測と遺跡付近の先史・原史小地誌  
〔巡検〕坂戸・毛呂山・越生付近（案内者、田村正夫・村本達郎）  
(以上要旨・所見・報告 報98 32~58 1978)
- 第22回（昭和54年度）大会（東北地理学会と共催） 1979年5月19・20日 於 宮城県民会館  
〔共同課題：河川・湖沼の歴史地理〕
- 三浦鉄郎：八郎潟に関する歴史地理
- 新見 正：棚田湿地での弥生時代の稻作
- 木原克司：古代水田址に関する二・三の問題
- 山野正彦・神前進一：地籍図と宮座からみた莊園村落—備中国新見莊の事例—
- 丸茂武重：保内商人の歴史地理学的研究
- 長谷正紀：境川の存在について
- 木下 良：国府と河川—国府の立地と国府津との関係位置について—
- 山田安彦：北上川の河川災害の地域的抵抗性と歴史地理的課題—水文歴史地理学への提唱—
- 伊藤安男：日本各地の堤防集落—洪水への対応としての—
- 大越勝秋：和泉地方における河川とその重要井堰
- 籠瀬良明：消滅した浅い沼や潟の浜堤例
- 田畑久夫：フランス学派における空間概念の変遷
- 井上政一：歴史地理資料としての営業便覧
- 楳 真一：山形市における地場産業の変容について、特に鋳物・鍛冶業を中心として
- 溝口常俊：近世甲州における年季奉公人の出入圏
- 橋本征治：志摩國府の隠居制
- 菊地利夫：修驗山伏による会津高田市場町の空間構成とその歴史心理

阿部和夫：北上盆地南端部の水利と土地改良

小野寺 淳：鉄道開通以前の北上川水運

池田雅美：北上川の河道変遷と旧河港

黒崎千晴：明治前期、荒川水系の水運について

千葉徳爾：住民の盛衰よりみたる阿賀川の河港塩川

〔巡検〕宮城県北平野の自然と歴史地理（案内者、板倉勝高・後藤雄二・松本秀明・長谷浩明）

（以上要旨・報告 報104 26～48 1979）

第23回（昭和55年度）大会 1980年5月4・5日 於 千葉商科大学

〔共同課題：山地・高原の歴史地理〕

中里亜夫：中国山地西部・山間盆地の遣牛馬入替市の展開—島根県邑智郡・出羽牛馬市を中心にして—

坂口慶治：鈴鹿山地における廃村化と移住域

牧野洋一：明治期における宮崎県山村の農業について

立石友男：羽後における明治中期の官林について

林 宏：奥吉野の山村—過疎化をめぐって—

藤田佳久・渋谷直幸：兵庫県丹波地域における入会林野の再編成

西田彦一：南山城における入会林野の解体過程—松井大谷山の事例—

小栗 宏：日本の共有林野の解体と外国の“Common”の解体

細井淳志郎：大井川流域における育林業と焼畑との問題について

千葉徳爾：加賀白山麓焼畑地帯住民の物乞い生活

田中豊治：焼畑、牧、牧畑と日本畑作農業展開問題

松村安一：わが国における筏流送

田畠久夫：奥三河における木地屋集落の変貌

松山利夫：明治3年の飛驒地方における作物結合

羽山久男：野尻村における耕地の開発過程

長野 覚：日本の山地に形成された入峰道（行者道）の歴史地理的予察

山田安彦：山岳と冬至太陽出没方位と古代地域計画

藤岡謙二郎：古代の山頂及び山嶺線の歴史地理学的意義—とくに三国山と国見山—

〔自由論題〕

井上政一：文明開化の地域的展開—明治後期の群馬県における商店を例として—（第1報）

長谷正紀：境川の存在について

戸祭由美夫：鳥取平野の「条里」地割—岩永説の再検討—

朴 寛燮：ソウル東方の百濟初中期における首都慰礼城の位置に関する地理学的研究

籠瀬良明：自然堤防の土地利用史素描

浅香幸雄：近世末における相模川中流西岸諸村の戸口分析

〔巡検〕市川市の歴史地理（案内者、松村祝男ほか）

（以上要旨・報告 歴110 16～34 1980）

第24回（昭和56年度）大会 1981年4月26・27日 於 奈良大学

〔共同課題：島嶼・半島の歴史地理〕

関口靖之：島嶼国の社会・経済構造からみた古代国領域の地域的性格—淡路国の事例を中心に—

大喜多甫文：神島における社会・経済構造とその変化  
遠藤匡俊：近世牡鹿半島における漁業紛争処理組織  
山田安彦：紀伊・房総両半島における地名分布の類似性と古代日本人の擬き的連想空間  
山崎俊郎：バレアレス諸島の都市誌  
池野 茂：沖縄の林政史の一考察  
千葉徳爾：小笠原父島扇浦集落における過去帳記載死亡者の変動について  
丸茂武重：半島国（丹後、安房、大隅）の設置について  
田畠久夫：わが国における海土集落の変貌—五島列島宇久島平を事例として—  
〔自由論題〕  
伊藤寿和：条里呼称法の整備課程—讃岐国を事例として—  
岩鼻通明：出羽三山をめぐる山岳宗教集落  
田中豊治：承久・天弘両度の行在所問題の歴史地理的解釈  
藤田佳久：近世吉野山村における林野所有の変化—借地林業の再検討—  
重見之雄：塩田の所有形態とその変化について（6）—山口県秋穂塩田の場合—  
金田章裕：オーストラリアの主要都市における街路パターンの成立  
西沢 豊：河道変遷に対する住民の対応—長野県犀川の事例—  
辻田左右男：疾病の歴史地理—ダニエル・デフォーの『ペスト』—  
〔小巡検〕 平城京西域の景観とその今昔（案内者、佐々木卓也ほか）  
〔巡検〕 Aコース：古代の歴史地理（案内者、千田稔ほか）  
Bコース：中近世の歴史地理（案内者、堀内義隆ほか）  
Cコース：高原の歴史地理（案内者、野崎清孝ほか）  
(以上要旨・報告 歴113 31~41, 歴114 37~40 1981)

第25回（昭和57年度）大会 1982年4月25・26日 於 横浜国立大学

〔共同課題：近代の歴史地理〕  
磯部啓三：パリ西部のコムーヌの経済的動向—第1次大戦中および両大戦間期におけるスュレーヌとピュートー  
小口千明：北海道における集治監の空間的特色  
紀 穎哉・寺本陽子・田畠久夫：近代以降の吐喝喇列島における村落構造の変貌  
井上政一：文明開化期に発生したる業種の地域的展開—明治40年の栃木県を事例として—  
山本 実：大正・昭和の東京都市計画事業—環状道路を中心にして—  
鈴木貞夫：炭鉱集落の景観復元—いわき市内郷白水について—  
大嶽幸彦：明治時代における旧播磨国中・西部河川流域の都鄙関係—歴史地誌学への一研究法の試み—  
松村祝男：産業資本確立期を中心とした庄内松ヶ岡製糸所の地域的機能について  
末尾至行：トルコにおける水力利用とその近代化  
黒崎千晴：文盲率低下の地域的動向  
〔自由論題〕  
神 英雄：古代陸奥国における寺院の成立事情と性格  
長谷正紀：境川の存在について（3）  
川口 洋：近世の通婚圈について—摂津国武庫郡上瓦林村の事例を中心として—  
吉田和義：長野県上高井郡小布施町における割替慣行

- 谷治正孝：天保飢饉の気候学的考察
- 田中豊治：近世日本の畠請地の歴史地理的検討
- 籠瀬良明：沖縄のグスク（城）—形態および分布—  
〔巡査〕歴史的都市鎌倉の都市形成（案内者、伊倉退蔵）
- （以上要旨・報告 歴117 41～53 1982）
- 第26回（昭和58年度）大会 1983年4月29・30日 於 立命館大学  
〔共同課題：都市・村落関係の歴史地理〕
- 田村正夫：歴史地理学における「都市・村落関係」の研究
- 金井 年：吉崎における中世的景観と近世的景観
- 南波 純：近世代官所町の歴史地理学的考察
- 川口 洋：通婚圏からみた江戸時代後期の「大坂地域」
- 佐々木清治：宿場町と助郷村—東海道見付・新居両宿とその各助郷村を事例として—
- 五十嵐 勉：伊賀国における「郷土集落」の地域構造
- 岡村光展：同族集団マキと近世の村落
- 岩崎公弥：近世西三河における木綿流通
- 中西僚太郎：明治前期における畿内綿作・綿業地域農村の人口変動
- 中村周作：海産物行商からみた集落間結合とその変化
- 平井松午：北海道における殖民地区画と「密居宅地」
- 中島 茂：泉州農村経済と機業家簇出の背景—明治・大正期の泉北郡の場合—
- 河島一仁：農鍛冶の分布とサービスエリア—京都府船井郡における「紀州鍛冶」受容との関連において—  
〔自由論題〕
- 中林 保：近世但馬の城下町
- 土田良一：近世宿駅の伝馬役
- 溝口常俊：幕藩社会確立期における家族形態の変容
- 桑原公徳：信州白馬岳山麓の新田村落一点在する新田村の事例研究—
- 紀 稔哉：儀礼からみた近代以前の宝島
- 小口千明：農村集落における精神的境界の諸相
- 田畑久夫：壱岐島における「アマ」集落の変貌
- 前葉和子：原史時代の自然環境と集落立地
- 佐島直三郎：漆文化に関する歴史地理学的研究—東日本における出土遺物について—
- 乾 幸次：古代に開発された南山城の井手扇状地
- 佐々木卓也：国造制の地理的諸相
- 小和田哲男：中世駿府の復原的考察
- 三好唯義：神戸市立博物館所蔵地球儀に関する一考察
- 重見之雄：近代塩田地主の地域的性格について
- 藤田佳久：わが国における育成林業地域形成の類型
- 末尾至行：届出文書よりみたる栃木県水車の盛衰—大正期・昭和戦前期における—
- 真貝 宏：岩手県の大字とその研究上の意義
- 井戸庄三：明治初期地方制度の地域性一大区小区性を中心として—

〔巡検〕京都市南部における歴史的景観と伝統産業（案内者、福田徹・坂口慶治・松井久美枝）

（以上要旨・報告 歴121 32～51 1983）

第27回（昭和59年度）大会（砺波散村地域研究所・富山地学会と共に） 1984年4月21・22日 於 砺波市文化会館

〔共同課題：空間認知の歴史地理〕

竹内啓一：歴史地理学における空間認知

青山宏夫：絵地図の表記方向の検討—1つの地図記号として—

五十嵐 勉：近世村絵図にみる水害の知覚と空間認識—播磨国赤穂郡「真広村絵図」のダイアクロニック分析—

岩鼻通明：宗教絵図における図像と景観—立山マンダラの場合・第2報—

久武哲也：空間認識と絵図

小野寺 淳：絵図にみる河川舟運路の空間認識

小口千明：「好まれない」空間の諸相—忌詞「広島に行く」にみる他界の認識像をめぐって—

安田喜憲：ナラ林文化と環日本海文化圈—縄文人の空間認知をめぐって—

黒田晃弘：古代日本の説話における場の表現

古田悦造：近世佃島における空間認知

石崎直義：越中人の二十四輩巡回の旅

金井 年：歴史的都市における空間構造再考—城下町におけるランドマークと町地・城地の面積比率の問題—

千田 稔：日本近代史と風景論

脇田武光：東松山市の都心の変遷—空間認知の変化例として—

〔自由論題〕

伊藤寿和：平安中期における阡陌・条里・農業の諸相—栄山寺領大和国宇智郡河南条里を事例として—

籠瀬良明：最近における中世城址調査法の躍進—西ヶ谷恭弘らの遺構発掘—

鈴木真一郎：仙台藩における城・要害・所・在所の歴史地理学的研究

梶川勇作：近世後期の名古屋近郊村の土地条件

橋本征治：近世砺波地方の地域構造に関する一考察—文化7年のムラ 商 の状況—

高瀬 保：越中砺波郡の召布制度

山村順次：明治期草津温泉における湯治客の生活

中村佐太郎：花蓮—開拓移民村について—

遠藤匡俊：松浦武四郎による蝦夷地のアイヌの集落に関する記述について

田畠久夫：「山村」概念に関する一考察—滋賀県愛知川上流を事例として—

佐々木卓也：空間意識としての“Ba”と“Ka”—古代エジプト文明理解に関する事例研究—

真貝 宏：住民の生活実態に基づく地域区分—岩手県を事例として—

梅原隆治：ペルー南部コスタのインカ道とタンボ

〔巡検〕砺波平野と五箇山の交流、およびその歴史的景観（案内者、浅香幸雄・佐伯安一ほか）

（以上要旨・報告 歴125 35～53 1984）

第28回（昭和60年度）大会 1985年4月21・22日 於 駒沢大学

〔共同課題：情報・交通の歴史地理〕

木下 良：歴史地理的に見た交通・通信・情報の諸問題

梅原隆治：インカ期アンデス地域の通信網

足利健亮・橋本初子：東寺領莊園と東寺一年貢輸送史料の紹介—

長野 覚：修驗集団にみる山岳通行（情報・交通）の実態

東 眞傳：芸予諸島の航路

金坂清則：若狭街道熊川宿についての一考察

霧生 岳：日記からみた名主の生活交渉空間—幕末期武藏国多摩郡の事例—

山本光正：旅—他国人との交渉—

川名 登：伊能忠敬の佐原における活動について

青木栄一：近代交通の歴史地理学研究の性格と方法

〔自由論題〕

伊藤寿和：平安期の栗林をめぐって—古代・中世の畠作研究にむけて—

籠瀬良明：黒部川扇状地べりで報じられている条里遺構の分析（予報）

田畠久夫：西海捕鯨業の変遷

石川裕之：幕末期・信州安曇平における地域構造の変容

上原秀明：認識された村落空間の構造

金井 年：近世都市における役負担と町割

岡村 治：新潟県蒲原平野における「市」存続要因の一考察

多田統一：農村地場産業の二、三の事例から

〔巡検〕隅田川周辺（大川端）の歴史地理（案内者、西村嘉助・桜井正信ほか）

（以上要旨・報告 歴129 26～39 1985）

第29回（昭和61年度）大会 1986年4月20・21日 於 皇學館大学

〔共同課題：治水・利水の歴史地理〕

原 秀穎：河内「感玖の大溝」の復原について

吉本昌弘：『播磨国風土記』に治水・利水様式を読む

野間晴雄：『疏導要書』にみる佐賀藩の治水と利水

阿由葉 司：利根川下流低湿地の生活文化—水塚を通じて—

佐島直三郎：東北地方主要河川における農業水利事業—主として本川頭首工による取水利用—

伊藤安男：明治初期におけるオランダ人工師たちの治水思想

伊藤寿和：斑鳩地域の溜池をめぐって

末尾至行：『徵發物件一覽表』の水車統計にみる利用状況

金坂清則：トルコの都市における飲料水供給—その歴史地理学的考察—

千葉徳爾・山口昭博：太東岬器械根と潜水器の利用

田畠久夫：対馬における伝統的漁業の変貌

〔自由論題〕

神 英雄：摂津国能勢郡における条里型土地割の分布と形態

日野尚志：ライン川左岸における古代ローマ道についての一考察—ノルトラインヴェストファーレン・ラインラント・アルツ 2州およびルクセンブルクの場合—

山野正彦：閻魔堂の立地に関する人文主義地理学的考察

小野寺 淳：道中日記にみる伊勢参宮ルートとその変容

土田良一：東海道の助郷—伊勢国を中心に—

儀永和貴：肥後国における中・近世の村落構造—飽田郡の検地帳を中心に—

椿 真智子：米沢藩における越後入百姓の移住形態

川口 洋：近畿地方における遠方婚—17～19世紀—

浅野清高：奉行人の移動からみた村落間の結合関係—近世越前国において—

河野敬一：明治期以降における中心地システムの変容—山梨県を事例として—

松尾容孝：育林地帯における林野私有化過程—奈良県吉野郡川上村を事例として—

赤羽孝之：新潟県上越地方における地場産業—細幅織物とスキ—

多田統一：大正後期から昭和初期にかけての本邦の缶詰業

〔巡査〕伊勢市と松阪市の歴史地理と国指定史跡斎宮跡の見学（案内者、藤本利治・生駒勝ほか）

（以上要旨・報告 歴133 26～41 1986）

第30回（昭和62年度）大会 1987年4月28・29日 於 筑波大学

〔会長講演〕

黒崎千晴：文明圏とクラッシュ・ゾーン

〔共同課題：行政の歴史地理〕

矢野正浩：薩摩藩における地方知行について一所領の地域設定傾向を中心に—

古田悦造：近世末期関東における所領地の変動と魚肥流通

川村博忠：荻藩の地方絵図一小村・村・郡図を中心に—

芳賀 登：官撰地誌と山野の巡査

関口靖之：古代山城国境での疫神祭祀と主要交通路

會田隆昭：伝統産業奨励の歴史地理

長野 覚：山岳靈場における聖俗境界の諸相—九州英彦山を事例として—

小田匡保：近代に対する山岳聖域の組織化

阿由葉 司・鶴崎清治：明治期における千葉・茨城県境変更について—千葉県香取郡の動向を中心として—

金子弘毅：茨城県の町村合併について—行政区域の拡大と市町村の命名—

飯島通明：公布100年を迎える市制・町村制について

井戸庄三：「行政」の論理と「自治」の論理の相克—明治以降の地方制度の改廃をめぐって—

〔自由論題〕

森 勝彦：華東における穀米流通の展開—清末・民国時期を中心として—

河野敬一：山形盆地における中心地構造の変容—明治期から昭和初期—

岡村 治：Q分析をもじいた新潟県の定期市システム

多田統一：明治・大正前半期における本邦の缶詰業—農産缶詰を中心として—

中西僚太郎：明治後期北関東（茨城・栃木県）における農業生産の地域類型—商品経済化の点からみた—

中村周作：漁村—背域農村の結合形態とその重層構造—串木野市羽島地区の事例—

鈴木貞夫：白土城・飯野平城（岩城氏）の縄張り図—福島県いわき市平—

椿 真智子：法華宗移民と浄土真宗移民における同化過程の比較的考察

川口 洋：A I M／R D B を用いた宗門改帳データベース化の試み

儀永和貴・朝比奈太郎・関口靖之・小山秀隆・丸尾佳二・藤本佳昭：普賢寺川流域における村落構造の歴史地理

学的研究—共同組織の諸関係を中心に—

松尾容孝：岡山県北西部和牛地帯における林野の広域的放牧利用—垣と放牧慣行に注目して—

青山宏夫：堀江家文書における近世村絵図の一考察

〔巡検〕常陸国府石岡の都市空間と霞ヶ浦地域（案内者、岩崎宏之・石井英也ほか）

（以上要旨・報告 歴137 25～41 1987）

第31回（昭和63年度）大会 1988年5月14～16日 於 滋賀大学

〔共同課題：盆地の歴史地理〕

矢野司郎：陣屋町の形態と構造について—近江高島郡大溝陣屋町の場合—

八杉 淳：大溝城下の地域構造とその特質

伊藤寿和：近江国の「町」地名をめぐって一条里呼称法の基礎的研究 その2—

野間晴雄：近江盆地における伝統的水利体系と村落結合—その類型的把握の試み—

中塚 良：首長墓系古墳の立地分析—京都府山城盆地・亀岡盆地を例に—

鈴木貞夫：会津盆地の条里型地割の分布

出田和久：豊後国田染荘の景観変遷

河野敬一：明治期以降の長野盆地における中心地システムの変容

末尾至行：京都盆地における水利利用パターンの変遷

〔自由論題〕

磯永和貴：「村落領域」の空間構造とその歴史的変遷—筑後国新開村を中心に—

椿 真智子：北関東における浄土真宗移民集落の地域的特色

川口 洋：人口誌研究支援「宗門改帳」データベースを用いた人口再生産構造の分析—摂津国八部郡花熊村の事例—

関口靖之：式内社の分布からみた律令期の地域的特性

長谷正紀：阿波国の駅家と駅路について

多田祐子：ポルトラノ型海図に関する一考察

金井 年：近世初頭～大正期にいたる久宝寺寺内町の景観的変容

河島一仁：18世紀後半における「紀州鍛冶」輩出地域の構成—『万代記』を中心として—

土田良一：中山道の助郷—寛永～元禄期美濃国の場合—

中西僚太郎：明治期の農業生産統計としての「郡是」資料について

〔巡検〕信楽高原と近江商人の町日野（案内者、小林健太郎・高橋誠一ほか）

（以上要旨・報告 歴142 40～54 1988）

第32回（平成元年度）大会 1989年5月27～29日 於 城西大学

〔自由論題〕

伊藤 等：高校社会科地理教育における地図学習—古地図の利用—

三木理史：昭和初期における地方鉄道の形成と産業資本—三重県・三岐鉄道の事例—

岡村 治：横手盆地南部の定期市場網

小野田一幸：国高帳・郷帳にみる新田開発—摂津国を事例に—

川口 洋：「宗門改帳」データベースを用いた家族周期の分析

田中智彦：西国三十三度行者の経路と宿の分布

熊谷 仁：茨城県石岡市井関におけるムラ領域

佐藤直行：藩政村領域の構造とその空間的展開

池内長良：享保飢饉の歴史地理的研究—幕府・藩の対応—

鈴木貞夫：中世城館の集落構成  
長谷正紀：駅路について  
渡辺秀一：元大都における官署の立地と移動  
藤岡ひろ子：Visby と Bergen のドイツ人居留地  
〔共同課題：変革期の歴史地理〕  
脊古真哉：遷都の神祇祭祀におよぼす影響について  
吉本昌弘：律令期初頭における畿内およびその周辺の国土整備計画（第3報）一条坊プランと郡衙プランの成立  
神 英雄：桓武朝における二大事業に関する歴史地理学的考察—蝦夷征討と都城造営の接点を求めて—  
木下 良：駅路研究における『延喜式』の資料的意義—律令体制崩壊期の残照と見て—  
千葉徳爾：城塞都市の形成と挫折  
安田初雄：近世初頭の米沢城下とその近傍の歴史地理的管見—太閤検地の高との関りからみて—  
田村正夫：日本におけるプロト産業化期の地域活性化—群馬・埼玉両県の公立小学校の授業料・教員数を手がかりに—  
中里亜夫：明治期・朝鮮牛疫の流行と検疫制度の確立  
〔巡検〕秩父・奥武藏の集落と産業（案内者、田村正夫・小口千明・岡村治）  
(以上要旨・報告 歴146 34~49 1989)

第33回（平成2年度）大会 1990年5月26~28日 於 金沢大学

〔自由論題〕

長谷正紀：伊賀国の古代交通路  
藤岡ひろ子：ニューオーリンズの歴史核 “Vieux Carré”  
三木理史：局地鉄道事業形成の基礎的条件—三重県の事例に基づく検討—  
岡島 建：近代日本における水運の盛衰と地域の対応  
谷本 瓦：特産飲料の販売開拓の課題—富山県朝日町のバタバタ茶の事例から—  
會田隆昭：北陸地方における（県立）工業試験場と和紙業について  
伊藤安男：江戸期における土石流災害とその対応—とくに養老山地を中心に—  
矢ヶ崎孝雄：長崎県下の猪垣  
山崎達夫：近世初頭の武州入間郡における農村構造  
川口 洋：奥会津地域における遠方婚（18~19世紀）  
中葉博文：地名「ひみ」の起因における十三塚（とみづか）について—富山県氷見市を中心に—  
島津俊之：奈良東山中「新西国三十三所」と歴史的地域  
〔共同課題：変革期の歴史地理Ⅱ〕  
長谷川孝治：チューダ・スチュアート朝における地図と社会  
関口靖之：明治期の大坂府下における神社合祀について—旧河内國の場合—  
田村正夫：日本におけるプロト産業化期の地域活性化（三）—群馬・埼玉両県における公立小学校立地集落の最低活性化—  
末尾至行：動力革命の地域的展開—石川県の場合—  
〔シンポジウム：変革期の歴史地理〕  
千葉徳爾：「変革期」の歴史地理  
足利健亮：都市形態の変革期と都市社会の変革期

溝口常俊：農業・農村の変革期

木下 良：交通・運輸の変遷とその変革期の諸問題

コメント：山田安彦・小倉 真・富岡儀八

〔巡検〕旧城下町とその近郊の変貌（案内者、小川弘司・奥谷陽一ほか）

（以上シンポジウムを除く要旨・報告 歴150 40～52 1990）

第34回（平成3年度）大会 1991年6月1～3日 於 日本大学

〔自由論題〕

木本雅康：下野国都賀・河内郡における古代駅路について

籠瀬良明：中世歴史地形の探求—黒部川扇状地と板橋区赤塚城周辺域の場合—

有薗正一郎：農書のフィールドにおける近世以降の主要作物構成の推移からみた地域性の考察

山崎達夫：近世前期における耕地の分散—武蔵国廣瀬村を事例として—

池内長良：享保飢饉にともなう幕府・諸藩の情報収集について

土田良一：中山道の助郷—元禄～享保期を中心に—

平井松午：北海道移住士族の定着状況—稻田旧臣を例に—

片上広子：松浦武四郎からみた蝦夷地の地域構造

桑原公徳・田中欣治・神前進一・五十嵐勉・礒永和貴：旧島根県における地籍図の基礎的研究(2)

田村正夫：日本におけるプロト産業化期の地域活性化（4）—長野県における公立小学校立地集落の活性化—

菊池万雄：明治22年和歌山県田辺会津川洪水

河島一仁：日本と中国における鍛冶技術の比較に関する一試論—江蘇省の鍛冶職人を中心に—

井村博宣：那賀川総合開発にともなう流筏の廃止と筏師の転職状況

三木理史：戦時交通統制と地方鉄道事業—三重県における事業者の統合過程—

小口千明：寸法による吉凶判断と集落景観—奄美・沖縄を事例として—

長野 視：山岳靈場における集落・行場の立地と方位—修験（山伏）集落英彦山について—

谷山元士：堺相論と「呼膀示」—「村」の形成過程との関連において—

神 英雄：神南備山の歴史地理学的考察—第1報—

金坂清則：近世小浜の都市構造と絵図—南川以南地域に関する検討を中心にして—

原田洋一郎：近世期における鉱山開発と中津川村

〔共同課題：東北日本と西南日本〕

中山正民：開発を通してみた東北日本と西南日本の平野

谷治正孝：東北日本と西南日本の気候環境—その自然的・社会的変動性—

小金丸研一：東北日本と西南日本—神話と歴史—

矢守一彦：御城下礼ノ辻考—地域類型との関連において—

脊古真哉・熊田雅彦：模造獣狩獵儀礼の分布について—三河・信濃・遠江国境地域のしかうち行事を中心に—

藤田佳久：林野利用（近世）の展開にみられる東北日本と西南日本

會田隆昭：和紙業への集中度に於ける東北日本と西南日本

藤岡ひろ子：外国人居留地の構造—横浜と神戸—

〔巡検〕武蔵野の古代から現代まで（案内者、立石友男・犬井正・佐野充・古田悦造）

（以上要旨・報告 歴155 47～66 1991）

第35回（平成4年度）大会 1992年5月15～17日 於 千葉大学

〔自由論題〕

長谷正紀：地方名の成立について—九州を中心にして—

神 英雄：神南備山の歴史地理学的考察—第3報—

木本雅康：日置氏・壬生吉志氏と氷川神社—古代の方位信仰を手掛かりとして—

伊藤寿和：古代の奈良盆地における用水開発の諸相—富雄川流域を事例として—

西正秀子：江戸町人地の発達—土地とのかかわりを中心として—

山田志乃布：近世駿府城下町における町人地の変容過程

岩鼻通明：近世の旅日記にみる善光寺・戸隠参詣

岩崎公弥：大和盆地における綿作率の推移とその地域差

原田洋一郎：奥秩父山間集落における鉱山開発と集落の関係—近世期小規模鉱山の一事例として—

富岡政治：山村労働市場の展開過程と鉱山開発—「農家兼業」型村落の事例から—

佐久間邦広：アジアの出生率減少要因分析—ASIAN ISSを中心として—

渡辺秀一：中国異民族王朝の都城—空間構成の特色—

藤岡ひろ子：上海の中心商業地における貿易機能の配置—1930年代を中心に—

川崎俊郎：明治・大正期における銀行立地と地域特性—長野県東信地域を対象として—

田村正夫：日本におけるプロト産業化期の地域活性(5)—新潟県における公立小学校立地集落近傍の活性化—

末尾至行：舟水車考—特に宮城県登米郡旧北方村の事例を中心に—

伊藤安男・新谷一男・伊藤憲司・高橋幸仁・馬渕曼修・安田 守：輪中地域の水屋建築とその変容—大垣輪中の悉皆調査を中心に—

椿 真智子：那須野ヶ原における近代開拓事業の展開過程

多田統一：第二次大戦前における静岡県の缶詰製造業

〔シンポジウム：東北日本と西南日本Ⅱ〕（オーガナイザー、山田安彦）

元木 靖：日本列島の東西差における稲作の役割

末尾至行：水力開発利用をめぐる地方差について

竹内啓一：国内の地域的ディコミニー比較の視点—イタリア南部問題に焦点をあてて—

西川 治：日本の東西、その共通性と独自性

谷岡武雄：東北日本と西南日本とを歴史地理学的に対比させることは可能か

〔巡検〕国立歴史民俗博物館と房総風土記の丘（案内者、山田安彦・木下良・白井豊・白井啓之）

（以上シンポジウムを除く要旨・報告 歴160 48～61 1992）

奈良大会 1992年9月27・28日 於 奈良大学

〔一般発表〕

井村博宣：那賀川平野におけるウナギ養殖業の展開過程

田島豊穂：群馬県の地租改正地引地図

関口靖之：大阪府旧和泉国にみる明治・大正期の神社合祀

土平 博：大和松山藩廃藩による城下町構造の変容

喜多朝子：中世都市「英賀」一字限図からの復元—

小野寺 淳：享保改革における流作場・原地新田の開発

山田浩之：近世大和の寺社参詣

- 矢野司郎：近世譜代大名系城下町の一試論一大和郡山城下町を例として—
- 上原秀明：慶長肥後国絵図の記載内容について
- 田畠久夫：鳥居龍蔵と北東シベリア一樺太（サハリン）・シベリア調査を中心に—
- 會田隆昭：書芸文化に見る東北日本と西南日本—料紙供給との関連に於いて—
- 中葉博文：舳倉島における地名構造
- 石井 實：昭和の流行歌にみる時代と地名
- 野間晴雄：マラリアと低湿地開発—第1報 地域開発序説—  
〔特別講演〕
- 水津一朗：外野席の地理学
- 〔巡検〕奈良盆地の歴史地理（案内者、藤田佳久・千田稔ほか）  
(以上特別講演を除く要旨・報告 歴163 53～62 1993)
- 第36回（平成5年度）大会 1993年5月15～17日 於 愛知大学  
〔自由論題〕
- 山田浩之：古代の聖域空間—三輪山を例として—
- 鬼塚久美子：古代の道と祭祀一人面墨書き土器との関わりから—
- 喜多朝子：中世都市「英賀」一字限図からの復元(2)—
- 礒永和貴：正保山城国絵図について
- 脊古真哉：湖北における歴史的信仰圈—滋賀県伊香郡の調査から—
- 藤喜一樹：三遠南信県境地域における曹洞宗地域の形成
- 関口靖之：大阪府旧摂津国（郡部）にみる明治・大正期の神社合祀
- 藤岡ひろ子：中世ブルージュの外国人居留地
- 川口 洋：奥会津地域における人口変動（18～19世紀）
- 岩崎公弥：大和盆地における綿作率の推移とその地域差(2)
- 山崎達夫：近世末期における耕地の空間的展開—上野国新田郡を事例として—
- 林 哲志：19世紀前半の渥美半島における地域的性格—渡辺華山筆『參海雑志』からの考察—
- 田島豊穂：群馬の壬申地引絵図について
- 田村正夫：日本におけるプロト産業化期の地域活性化(6)—佐渡における公立小学校近接集落の活性化—
- 川崎俊郎：大正期、佐久盆地における地方中小銀行の成立と役割
- 中西僚太郎：佐久盆地における小農経営の展開—1922～1976年—  
〔共同課題：環境と歴史地理〕
- 高橋 学：古代末における地形環境の変化と土地利用
- 武田満子：「浪花古図」にみる地形環境と現在の地形環境との差異
- 池内長良：近畿地方における享保17年の蝗害発生環境と取箇
- 有薗正一郎：近世末の土地利用図からみた日本の環境
- 藤田佳久：近世末期および明治末期における林野利用の復原と林野利用の100年
- 新井桂子：関東平野東部の農村における林産物の生産環境
- 浅香勝輔：環境変化と嫌忌施設
- 〔巡検〕古地図などからみる近世吉田（豊橋）とその周辺地域（案内者、藤田佳久・有薗正一郎・渡辺和敬・宮沢哲男）

(以上要旨・報告 歴165 43~60 1993)

第37回(平成6年度)大会 1994年6月25~27日 於 山形県生涯学習センター

[自由論題]

木下 良：古代出羽国の駅伝路一特に、いわゆる水駅をめぐって—

河村克典：わが国に現存する朝鮮八道図の基礎的研究

中川 重：旧城下町都市山形の地域的変容の特異性

山田 誠：明治20年代の札幌における営業者構成—「札幌實業家便覧」を主な資料として—

楨 昭一：上杉藩領立地織物業の歴史地理学的研究

會田隆昭：和紙業史に見る環境問題—江戸・東京の浅草紙の事例に就いて—

葛西大和：移出入貨物の構成変化より見た山形県の近代における商品流通

阿部和夫：昭和初期における北上川流域の小規模耕地整理事業の展開

[シンポジウム：環境と歴史地理] (オーガナイザー、日下雅義)

関戸明子：民俗資料による村落の環境利用に関する分析

小野寺 淳：絵画に描かれた自然環境—その復原と解釈—

岩崎公弥：メソスケール地域の地誌的資料としての近世村絵図の利用

滝沢由美子：地籍図による地域環境と環境復原—その利用上の意義と問題点—

金坂清則：古典にみる環境・場所・景観と歴史地理学

コメント：島津俊之・吉田敏弘・五十嵐勉・古田悦造・服部昌之

[巡検] 出羽三山の宗教集落(案内者、楨昭一・中川重ほか)

(以上シンポジウムを除く要旨・報告 歴170 32~39 1974)

第38回(平成7年度)大会 1995年6月3~5日 於 駒沢大学

[自由論題]

脊古真哉：滋賀県湖北地域における真宗寺院の展開—絵像本尊および裏書の調査を中心に—

船杉力修：戦国期における伊勢信仰の浸透とその背景—越後国蒲原郡を事例として—

三木一彦：秩父地域における三峰信仰の展開

松尾容孝：たら地域の部落有林野—鳥取県日野郡日南町の分析を通じて—

木本雅康：肥前国彼杵・高来両郡における古代交通路について

伊藤寿和：古代・中世の「野畠」と「山畠」に関する基礎的研究

有薗正一郎：近世後半における農民の米の消費量とその地域性

小口千明：明治・大正期における製薬業の地域的特質—洋薬および洋法技術導入の観点から—

片上広子：近世末から近代における広島カキ船営業の地域的展開

神 英雄：近代北海道における会社移民の一考察—幌向原野の必成社を中心として—

徳安浩明：鉄山経営者による耕地開発と集落形成—鳥取県日野郡江府町宮市原の事例—

矢ヶ崎孝雄：カリフォルニア州ターラック地域の日本人移民農業

山村順次：明治期における別府の温泉開発

中島義一：旅館の歴史地理—明治後期を中心に—

[共同課題：水と歴史地理]

橋村 修：中・近世の上五島における海村と漁場認識

山田志乃布：近世後期における港湾都市の機能—松前江差を事例として—

天野宏司：明治初期の多摩地域における水利用

末尾至行：群馬県の水車設置出願文書を巡る諸問題

〔巡検〕東京西南部の歴史地理（案内者、中島義一・桜井邦夫）

（以上要旨・報告 歴175 44～57 1995）

## 例　　会

第1回例会 1958年11月29日 於 立教大学

板倉勝高：文化形成を基礎づける歴史地理学

山寄謹哉：歴史地理学の方法に関する若干の問題

第2回例会 1959年1月31日 於 立教大学

内田 実：土地利用の歴史地理的研究—とくに土地利用変化図について—

菊地利夫：歴史地理学方法論の三つの類型

第3回例会 1959年6月27日 於 立教大学

赤峰倫介：戦前段階における歴史地理学研究の動向

第4回例会 1959年9月26日 於 立教大学

菊池一雅：都市の変遷についての歴史地理の一考察—オルレアンについて—

佐藤甚次郎：日本農家の間取り型の成立過程

第5回例会 1959年10月28日 於 立教大学

高杉陽二郎・猪俣好光：静岡県三島市付近の条里の研究

(要旨 通3 2~3 所見 籠瀬良明 1959)

第6回例会 1960年1月30日 於 立教大学

三友国五郎：北関東における条里調査について

(要旨 通4 2・3 所見 菊地利夫 1960)

第7回例会 1960年6月12日

巡査：武藏野台地に開発された近世初期、前期の新田村落の比較（案内者、菊地利夫・松村安一・山寄謹哉）

(要旨 通6 2~3 1960, 紀3 221~222 1961)

第8回例会 1960年7月16日 於 立教大学

菅沼英雄：富士山麓開発の歴史地理学的考察

(要旨 通6 1~2 1960, 紀3 223 1961)

第9回例会 1960年9月24日 於 立教大学

中丸和伯：条里村落の研究と課題—歴史と地理にあるもの—

(要旨 通7 1~2 1960, 紀3 223~224 1961)

第10回例会 1960年12月10日 於 立教大学

浅香幸雄：近世における宗教集落の発展

(要旨 通7 3 1960, 紀3 224~225 1961)

第11回例会 1961年1月21日 於 立教大学

菊地利夫：滝名川扇状地における水利慣行の復原と扇状地の開発過程について

(要旨 通8 2~5, 紀3 225~228 所見 籠瀬良明 1961)

第12回例会 1961年6月24日 於 立教大学

芥川竜男：越後村上藩の歴史地理的考察

(要旨 通10 1~4 1961, 紀4 220~222 所見 菊池万雄 1962)

第13回例会 1961年9月30日 於 立教大学

池田正友：北ボルネオの土地利用

別技篤彦：モンスーンアジアにおける土地利用の近代化について

(要旨 通11 2~5 1961, 紀4 222~225 所見 上野福男 1962)

第14回例会 1961年12月9日 於 立教大学

鮎沢信太郎：江戸時代にロシアから伝來した地図について

(要旨 通12 2~5, 紀4 228~232 所見 菊地利夫 1962)

第15回例会 1962年2月27日 於 立教大学

清水靖夫：明治期の地図—とくに地形図とその表現について—

(要旨 通13 4~6, 紀4 232~235 所見 菊地利夫 1962)

第16回例会 1962年6月30日 於 立教大学

中島義一：一万石大名の城下町

別技篤彦：マラッカの歴史地理的考察

(要旨 通15 1~3 所見 松村安一 1962)

第17回例会 1962年10月13日 於 立教大学

大角留吉：原町付近の寺社の分布と地名について

浅香幸雄：富士山北口の登山機構と御師の生活

(要旨 通16 1~5 所見 山口恵一郎 1962)

第18回例会 1962年11月24日 於 立教大学

奥平定世：歴史地理学的にみたるラオスの民族主義

佐々木清治：助郷村の諸問題

(要旨 通17 1~5 所見 山口恵一郎 1963)

第19回例会 1963年1月26日 於 立教大学

佐藤甚次郎：集落の様式

(要旨 通18 2~5 所見 籠瀬良明 1963)

第20回例会 1963年6月22日 於 立教大学

田村正夫：明治初期の繊維産業に関する一考察

(要旨 通20 1~3 1963)

第21回例会 1963年10月5日 於 立教大学

別技篤彦：ポリネシアにおける文化の変容—クック諸島を例として—

(要旨 通21 1~2 所見 三友国五郎 1963)

第22回例会 1963年12月4日 於 立教大学

鈴木道郎：明治初期における相模大山御師の経済生活

金闇義則：河内平野の開発（特別講演）

(要旨 通22 1~5 所見 当麻成志・籠瀬良明 1964)

第23回例会 1964年1月8日 於 立教大学

木村東一郎：竹本光明の模写地図について

(要旨 通23 2~4 所見 菊地利夫 1964)

第24回例会 1964年3月7日 於 立教大学

伊藤好一：武藏野台地における玉川上水の利用（特別講演）

（要旨 通23 5～6 所見 竹内常行 1964）

第25回例会 1964年5月9日 於 立教大学

黒崎千晴：明治前期、産業の地域的構造について

（要旨 通25 1～2 所見 佐藤甚次郎 1964）

第26回例会 1964年6月27日 於 立教大学

柴田孝夫：江戸城下町の地割について（予報）

（要旨 通26 1～4 所見 黒崎千晴 1964）

第27回例会 1964年9月26日 於 立教大学

別技篤彦：中近東の印象

（要旨 通27 1～2 所見 菊池一雅 1965）

第28回例会 1964年11月28日 於 立教大学

浅香幸雄：東南アジア諸地域の開発

（要旨 通27 2 1965）

第29回例会 1965年1月30日 於 立教大学

佐藤甚次郎：フランスのシヤトウ

（要旨 通28 2～4 所見 岸本実 1965）

第30回例会 1965年5月29日 於 立教大学

木村東一郎：無人島の地図について

（要旨 通30 1～2 所見 板倉勝高 1965）

第31回例会 1965年10月2日 於 立教大学

板倉勝高：自由主義段階までの東京工業

（要旨 通31 1～3 所見 竹内淳彦 1965）

第32回例会 1965年11月27日 於 立正大学

岸本 実：藩政後期における農民離村現象

（要旨 通32 1～4 所見 菊地利夫 1966）

第33回例会 1966年2月5日 於 東京教育大学

中島健一：歴史時代における近東地方の気候変化

（要旨 通33 4～5 所見 浅香幸雄 1966）

第34回例会 1966年5月28日 於 日本大学

大矢雅彦：平野地形と洪水氾濫形態との関係

（要旨 通35 1～3 所見 籠瀬良明 1966）

第35回例会 1966年6月25日 於 立教大学

松本豊寿：初期城下町の成立とその概念規定について

（要旨 通35 5～6 所見 菊地利夫 1966）

第36回例会 1966年9月24日 於 日本女子大学

芥川竜男：酒匂川流域における豪族屋敷について

（要旨 通36 1～2 所見 佐藤甚次郎 1966）

第37回例会 1966年11月26日 於 東京教育大学

丹治妙子：安倍川下流東新田の成立

芳賀 登：歴史学よりみたる歴史地理学の系譜—国学者の私撰地誌研究を中心として—

(要旨 通37 1～5 所見 菊地利夫 1967)

第38回例会 1967年2月4日 於 立正大学

岸本 実：明治大正期における離村地域の形成と都市人口の集積過程—第2報—駿遠の場合—

(要旨 通38 3～4 所見 太田晃舜 1967)

第39回例会 1967年6月3日 於 日本大学

島方洸一：社会科学における地理学の役割—地理的現象に対する歴史的評価—

(要旨 通40 1～5 所見 籠瀬良明 1967)

第40回例会 1967年7月15日 於 立教大学

菊池万雄：災害の歴史地理

(要旨 通40 5～6 所見 岸本実 1967)

第41回例会 1967年9月23日 於 東京教育大学

小栗 宏：西ニューギニアの独立問題

(要旨 通41 1～3 所見 浅香幸雄 1967)

第42回例会 1967年11月25日 於 日本女子大学

山口守人：遠州織物工業の生産流通機構の変容

(要旨 通42 1～4 所見 黒崎千晴 1968)

第43回例会 1968年2月10日 於 立正大学

山村順次：伝統的な温泉集落の構造

(要旨 通43 2～4 所見 山口恵一郎 1968)

第44回例会 1968年5月25日 於 明治大学

田村正夫：明治前期における綿織物業に関する一考察

(要旨 通45 2～3 所見 中島義一 1968)

第45回例会 1968年7月7日 於 神奈川県立博物館

中丸和伯：中世の相模

終了後館内見学（案内者：浅香幸雄・阿部正道）

(要旨 通46 1～3 所見 芥川竜男 1968)

第46回例会 1968年10月26日 於 立教大学

大脇保彦：和紙業の地域的展開—四国に於ける明治以降を中心としての予察—

(要旨 通47 1～4 所見 太田晃舜 1968)

第47回例会 1968年12月15日 於 駒沢大学

吉川博康：近世越後小出島の集落機能—谷口集落の概念規定のための一試論—

桜井正信：世田谷のボロ市

巡査：豪徳寺・ボロ市・大場代官屋敷（案内者、桜井正信・芥川竜男）

(要旨 通48 2～3, 6～8 所見 大角留吉 1969)

第48回例会 1969年5月31日 於 立教大学

鈴木道郎：わが国におけるこれまでの工業地域構造研究と新研究方法

- (要旨 通50 1～3 所見 田村正夫 1969)  
第49回例会 1969年7月6日 於 日立市会瀬漁業協同組合  
長久保光明：長久保赤水の日本地図編集について（1717～1801）  
白土庄治郎：会瀬漁港付近の潮流観測による魚群の発見について（特別講演）  
巡検：日立市内・陸前浜街道・神峯公園（案内者、長久保光明）
- (要旨 通50 3～7 所見 田村勝正 1969)  
第50回例会 1969年9月27日 於 都立両国高校  
浅沼 操：近世における越前黒目村の人口動態
- (要旨 通51 1～2 所見 小和田哲男 1969)  
第51回例会 1969年11月29日 於 都立第三商業高校  
田村勝正：野蒜築港と海港立地の移動
- (要旨 通52 1～3 所見 中島義一 1970)  
第52回例会 1970年1月18日 於 立教高校  
伊藤好一：江戸周辺の肥料市場  
清水靖夫：志木付近の歴史地理  
巡検：志木市内一河岸跡・市場・宿場等（案内者、清水靖夫）
- (要旨 通53 3～6 所見 吉川博康・大脇保彦 1970)  
第53回例会 1970年5月30日 於 立教大学  
中島義一：明治前期の町、群馬県の場合
- (要旨 通55 3～4 所見 黒崎千晴 1970)  
第54回例会 1970年9月26日 於 日本大学桜ヶ丘高校  
籠瀬良明：久慈川・那珂川沿岸平野の条里—微地形との関連—
- (要旨 通56 26～28 所見 山崎謹哉 1970)  
第55回例会 1970年11月28日 於 日本大学第二高校  
梶川勇作：近世飛弾の村落と経済
- (要旨 通57 1～2 所見 浅沼操 1971)  
第56回例会 1971年1月31日  
巡検：中小零細工業地域としての東京城東地域（案内者、竹内淳彦・井出策夫）
- (要旨 通58 3～5 1971)  
第57回例会 1971年5月29日 於 国学院大学  
大角留吉：近世農村人口の二三の問題点
- (要旨 通60 1～3 所見 岸本実 1971)  
第58回例会 1971年7月3日 於 日本大学  
加藤雅功・根本広行・籠瀬良明：潮来町浪逆地区の歴史的变化—歴史地理学とは何か—
- (要旨 通60 5～10 所見 澤田清 1971)  
第59回例会 1971年9月22日 於 立教大学  
菊地利夫：江戸干鰯問屋仲間と浦賀干鰯問屋仲間の集荷圏の係争に関する歴史地理学的研究
- (要旨 通61 1～5 所見 田村正夫 1971)  
第60回例会 1971年11月27日 於 東京教育大学

上田正夫：地域人口の研究について

(要旨 通62 1～4 所見 菊池万雄 1972)

第61回例会 1972年1月29日 於 専修大学付属高校

丹生谷章：スライドによるトルコ・イラン・アフガニスタンの景観

(要旨 通63 3～7 所見 木村東一郎 1972)

第62回例会 1972年5月27日 於 東京教育大学

五味武臣：水利秩序の変質過程とその結果について—八ヶ岳西麓原村を事例として—

(要旨 通65 2～3 所見 竹内常行 1972)

第63回例会 1972年7月15日 於 立教大学

小和田哲男：戦国期村落の歴史地理的考察—北条氏邦の鉢形領について—

(要旨 通65 4～6 所見 芥川竜男 1972)

第64回例会（人文地理学会と共催） 1972年9月9・10日 於 関西大学

橋本征治：近世砺波地方における地帯別特性と地域構造の展開

浅沼 操：旧守山藩領の割替慣行

藤岡謙二郎：古代日向の地域的中心と交通路

浅香幸雄：近世期における在町の構成—越中国中田町の場合—

巡査：大和池田庄とその周辺の歴史地理（案内者、服部昌之・山澄元）、城下町高槻と芥川宿・郡家趾（案内者、小林健一郎）、西宮の伝統産業と都市化（案内者、池野茂）

(要旨 通66 1～13 所見 山崎謹哉・渡辺久雄 1972)

第65回例会 1972年11月25日 於 日本大学

菊池万雄：寺院過去帖よりみた天保の飢饉

木村東一郎：村絵図と地租改正図の編成概念の関係について

(要旨 通67 2～5 所見 中島義一・清水靖夫 1973)

第66回例会 1973年1月27日 於 大正大学

芥川竜男：波多野氏と波多野郷一大友氏の出自に関連して—

(要旨 通68 4～7 所見 関恒久 1973)

第67回例会 1973年5月26日 於 東京教育大学

川崎文昭：明治末・大正初期の清水市域

中丸和伯：1960年代の神奈川県

(要旨 通70 3～7 所見 伊倉退藏 1973)

第68回例会 1973年7月14日 於 立教大学

山本 実：武田氏館の一考察

山口恵一郎：地名における文化圏の問題

(要旨 通71 2～6 所見 中島義一・田村勝正 1973)

第69回例会 1973年11月24日 於 日本大学

松村祝男：旧用宗村の地租改正について

吉川博康：江戸周辺助郷村の存在形態とその変容—品川宿助郷村下丸子村を主として—

籠瀬良明：明治22年十津川村の水害

(要旨 通72 1～9 所見 菊池万雄・澤田清 1974)

第70回例会 1974年1月26日 於 国学院大学

小島清孝：日本地誌提要よりみたる交通路の一考察

木下 良：肥前・肥後における「延喜式」駅家と駅路の復原

(要旨 通73 3~7 所見 青木栄一・丸茂武重 1974)

第71回例会 1974年5月25日 於 東京教育大学

増島 淳：鉱物組成よりみた縄文中期土器の作製地について

吉村光右：人物の活動の地域的展開—人物の地理、二宮尊徳の場合—

(要旨 報75 1~5 所見 木下良・木村東一郎 1974)

第72回例会 1974年7月6日 於 立教大学

土岐健生：西三河の条里制遺構について

藤井正雄：フィールド・ワークの場における宗教学と地理学

(要旨 報75 5~10 所見 木下良・中島義一 1974)

第73回例会 1974年9月29日 於 千葉商科大学

中島義一：岩手・青森両県交界地方における定期市

巡査：市川の歴史地理（案内者、菊池万雄・松村祝男）

(要旨 報76 1~6 所見 大角留吉 1974)

第74回例会 1974年11月30日 於 日本大学桜ヶ丘高校

細井淳志郎：遠州横須賀城下町に関する諸問題

籠瀬良明：宮崎平野の古代水田

藤岡謙二郎：現代都市の系譜的分類とD I D

(要旨 報77 2~10 所見 山寄謹哉・澤田清 1975)

第75回例会 1975年1月25日 於 専修大学付属高校

村井誠人：デンマーク・ドイツ国境の成立

(要旨 報78 4~7 所見 太田晃舜 1975)

第76回例会 1975年5月31日 於 日本大学第二高校

渡辺和敬：近世における関東の関所と番所

浅香幸雄：ヨーロッパの歴史的都心部の景観

(要旨 報80 21~24 所見 中島義一・菊地利夫 1975)

第77回例会 1975年6月19日 於 千葉商科大学

松村祝男：みかん作の地域的展開と報徳社との関連性について

伊藤好一：江戸府内における水路の保全

(要旨 報81 33~37 所見 新井鎮久・山寄謹哉 1975)

第78回例会 1975年9月27日 於 駒沢大学

井上政一：地方小都市における商店街の変遷—富岡市の場合—

上野和彦・榎原忠造：関東地方における綿作と綿織物業地域の変容

(要旨 報82 18~21 所見 田村正夫・井出策夫 1975)

第79回例会 1975年11月29日 於 日本大学

木村東一郎：村内社の歴史地理学的研究

阿部正道：神奈川県内の鎌倉街道について、その分布と二・三の地域の考察

(要旨 報83 12~15 所見 菊池万雄・木下 良 1976)

第80回例会 1976年1月31日 於 立正大学

谷岡武雄：ケンチュリア・ロマーノに関する若干の考察

岸本 実：藩政後期以降における日本の人口配置

(要旨 報84 17~21 所見 木下良・岡本兼佳 1976)

第81回例会 1976年6月5日 於 立教大学

村越広司：鹿角市周辺の温泉集落の形成と構造

飯豊毅一：言語研究と地理的諸条件

(要旨 報86 41~44 所見 山村順次・中田栄一 1976)

第82回例会 1976年7月10日 於 駿府博物館

南出真助：中世の港に関する諸問題

松村祝男：伊豆地区における報徳運動とみかん作

佐々木清治：遠駿地方における旗本知行地の地域構造と機能

巡検：遠州路の歴史地理（案内者、佐々木清治・細井淳志郎・土井喜久一・松本繁樹・田島久）

(要旨 報87 46~51 所見 田嶋久・小林健太郎 1976)

第83回例会 1976年9月25日 於 国学院大学

渡辺正道：法隆寺領播磨国鶴庄の条里と用水一庄園図の復元を中心に一

田村正夫：埼玉県における20世紀初頭の織物商分布

(要旨 報88 39~43 所見 柴田孝夫・黒崎千晴 1976)

第84回例会 1976年11月27日 於 日本大学

小倉 真：農地改革前後における土地所有関係の変化

高木勇夫：条里制とその自然的基礎

浮田典良：明治前期農業の統計的考察

(要旨 報90 20~25 所見 松村祝男・浮田典良・澤田清 1977)

第85回例会 1977年1月22日 於 東京学芸大学

犬井 正：東京都檜原村における林業の推移と林家経営の変貌

(要旨 報90 25~26 所見 立石友男 1977)

第86回例会（岐阜地理学会と共に） 1977年7月2日 於 大垣市文化会館

福田 徹：中世後期の村落—近江国高島郡木津庄を中心として—

伊藤安男：馬渓 修：輪中堤の形態的変容—とくに切割をめぐる問題を中心に—

青木栄一：鉄道交通における歴史地理学の系譜と問題点

坪内庄次：近世岐阜町の人口分析

巡検：大垣市と周辺地域（案内者、伊藤安男ほか）

(要旨・報告 報93 26~33 所見 小林健太郎・松原義継・山崎俊郎・樋口節夫 1977)

第87回例会 1977年9月2日 於 立教大学

高野春樹：下利根川の水運についての一考察—津宮河岸を中心として—

奥藤恭弥：ナイル遺跡見学と中学校地歴教育

(要旨 報94 33~35 所見 丹治健蔵・山寄謹哉 1977)

第88回例会（日本大学地理学会と共に） 1977年10月22日 於 日本大学

- 菊池万雄：小川紙とその取引商人
- 佐藤甚次郎：炊事用空間のカマヤとミズヤの呼称の分布—日本の住家系統とその分布に関する一つのアプローチ
- 足利健亮：町と辻子と筋  
(要旨 報95 28~32 所見 田村正夫・木村東一郎・柴田孝夫 1978)
- 第89回例会 1978年1月21日 於 立正大学
- 上野和彦：十日町機業地域の形成と生産構造
- 浅香幸雄：韓国史跡にみる歴史地理、公州・扶余・慶州・水原  
(要旨 報96 38~40 所見 松村祝男・木下良 1978)
- 第90回例会 1978年5月27日 於 立教大学
- 菊地利夫：常陸國金田・花室条里的水田地割遺構—逆行法による行動歴史地理学的研究—
- 中島義一：徳川將軍家御殿の歴史地理的考察、第3、日光社参の場合  
(要旨 報99 17~20 所見 山田安彦・田村勝正 1978)
- 第91回例会 1978年7月23日
- 巡査：千葉市の貝塚と自然環境（案内者、神尾明正・菊地利夫ほか）  
(報告 報99 20~21 1978)
- 第92回例会 1978年9月29日 於 専修大学
- 土田良一：近世甲府三日町の人口動態
- 黒崎千晴：明治期における中心地の階層的配置—岩手県を事例として—  
(要旨 報101 33~35 所見 中島義一・田村利夫 1979)
- 第93回例会 1978年11月11日 於 日本大学
- 水野 清：構造改善事業の進展に伴う茨城県下農村地域の変容、下館市河間地区を例として
- 奥田 久：日光街道について
- 玉城 哲：兵庫県東播地域における溜池地域の水利組織  
(要旨 報102 28~32 所見 松村祝男・田村勝正 1979)
- 第94回例会 1979年1月27日 於 立正高校
- 長野 覧：山岳宗教（修驗道）集落英彦山の構造と経済的基盤
- 山田安彦・伊藤博幸：胆沢城の地域空間構成、歴史知覚的視点からの接近  
(要旨 報102 32~35 所見 中島義一・菊地利夫 1979)
- 第95回例会 1979年4月21日 於 専修大学
- 森 勝彦：清代から民国時代に至る山東省の定期市
- 菊地利夫：近世における北上川の治水  
(要旨 報104 49~51 1979)
- 第96回例会 1979年7月22日
- 巡査：近世上州の町と村（案内者、南雲栄治・中島義一・井上政一）  
(報告 報106 18~19 1979)
- 第97回例会 1979年9月22日 於 専修大学
- 小倉 真：埼玉県における農地改革の状況—とくに中小地主層の動向を中心として—
- 大塚昌利：明治大正期の静岡県における銀行の分布  
(要旨 報106 19~21 1979)

第98回例会 1979年11月17日 於 専修大学

田村勝正・樋口政則：近世初頭院内銀山町をめぐる交通路の問題

青木栄一：メソスケールの鉄道史について

(要旨 報107 33~34 1980)

第99回例会 1979年11月23日

巡査：東京都内における歴史的残像

(要旨 報107 35~36 1980)

第100回例会 1980年1月26日 於 専修大学

上野和彦：わが国における絹織物業の地域的展開（第1報）

浅香幸雄：近世資料の整理と利用した砺波平野の林隙村的開発例（記念講演）

(要旨 報108 29~30 1980)

第101回例会 1980年7月26日 於 千葉商科大学

村松祝男：昭和恐慌後に現れた果樹栽培の地域的拡大について

小金丸研一：真間手元奈入水傳説歌の周辺

第102回例会 1980年9月28日

巡査：相模中部の歴史地理（案内者、浅香幸雄・中島義一）

(報告 歴111 39~41 1980)

第103回例会 1980年11月29日 於 専修大学

橋本直子：平野型新田開発の進展と変容—会津盆地中茅津新田村を通して—

青木栄一：流山軽便鉄道の成立とその生活

(要旨 歴112 41~42 1981)

第104回例会（日本地理学会地籍図研究グループと共催） 1981年1月31日 於 専修大学

山田安彦：明治前期の安房（国）における地籍図作成の経緯

佐藤甚次郎：明治前期の地籍図類—その作成の経緯と系譜—

(要旨 歴112 43~45 1981)

第105回例会 1981年3月14日 於 専修大学

古田悦造：九十九里浜における地引網網主組合について

山口恵一郎：パプアニューギニアにおける環境の変化とそれへの対応

(要旨 歴113 43~44 1981)

第106回例会 1981年6月28日

巡査：関東平野中央部の歴史地理（案内者、佐藤甚次郎・中田栄一・中島義一）

(報告 歴114 44 1981)

第107回例会（河成海岸平野研究・地籍図研究グループと共催） 1981年10月3日 於 専修大学

鈴木貞夫：福島県浜通り地方の条里型地割の灌漑

中山正民：荒川の地形と洪水

柴田孝夫：中小武士団の館邸とその周辺の地割について

(要旨 歴115 54~55 1981)

第108回例会 1981年11月21日 於 専修大学

小松 丘：わが国における石炭岩・セメント輸送鉄道の発達

(要旨 歴116 35 1982)

第109回例会 (河成海岸平野研究・地籍図研究グループと共に) 1981年12月20日

巡査: 江戸川流域の自然・人文景観の変遷 (案内者、山田安彦・佐藤甚次郎・中山正民・滝沢由美子)

(報告 歴116 35~36 1982)

第110回例会 1982年3月27日 於 専修大学

斎藤康彦: 神奈川県農村における耕地の存在形態と耕作農民の対応—耕地の移動および配置の実態を中心にして

(要旨 歴118 32 1982)

第111回例会 1982年6月6日

巡査: 北伊豆狩野川下流地域の歴史地理 (案内者、佐々木清治ほか)

(報告 歴118 32~33 1982)

第112回例会 1982年7月10日 於 専修大学

小野寺 淳: 明治期航路改修の問題—北上川・阿賀野川を事例に—

丹治健蔵: 関東河川水運史研究の現状と問題点

(要旨 歴118 33~35 1982)

第113回例会 1982年9月25日 於 専修大学

原 高則: 明治期の利根川の舟運を通じての地域研究

瀧音能之: 古代日本海沿岸地域考察への一指標—伯耆国宗像神社をめぐって—

(要旨 歴119 48~49 1982)

第114回例会 1982年12月11日 於 専修大学

中村静夫: 「明治5年東京下町主要部戸数密度図」について

波多野純: 日本橋・江戸橋広小路の復原

(要旨 歴120 42~43 1983)

第115回例会 1983年1月22日 於 専修大学

長久保光明: 長久保赤水の日本地図編集について (略称: 赤水日本図)

岸本 博・菊地啓二: 埼玉の江戸藏について

(要旨 歴120 43~44 1983)

第116回例会 1983年6月4日 於 専修大学

菊地利夫: 大間々扇状地の代官見立新田の開発

(要旨 歴122 42~43 1983)

第117回例会 1983年7月9日 於 専修大学

橋本直子: 近世猿島台地の開発とその後の変容—下総国猿島郡浦向村を通して—

古田悦造: 近世佃島における土地所有の変化

(要旨 歴122 43~44 1983)

第118回例会 1983年9月24日 於 専修大学

杉山正司: 武藏東部の市について

芥川竜男: 西国武士の居館規模について—豊後国の事例—

(要旨 歴123 35 1983)

第119回例会 1983年12月10日 於 専修大学

矢野正浩: 薩摩藩における局地的中心集落—麓・野町・浦町の存在パターンとその勢力圏としての郷 (外城) —

真貝 広：地域住民の認識に基づく生業パターンの区分—岩手県の場合—

(要旨 歴124 47~48 1984)

第120回例会 1984年1月21日 於 専修大学

柴田孝夫：江戸城下町の溝渠

黒崎千晴・小口千明・小野寺 淳・川口 洋：青梅・五日市における流通構造と「市」の変容

(要旨 歴124 48~49 1984)

第121回例会 1984年6月2日 於 専修大学

黒崎千晴：明治前期、最終需要からみた地域構造—菓子税負担率を指標として—

(要旨 歴126 50~51 1984)

第122回例会 1984年7月7日 於 専修大学

長野 覚：山岳信仰の空間認知—修験道の峰入りの実態を通して—

(要旨 歴126 51~52 1984)

第123回例会 1984年10月27日 於 専修大学

〔第52回国際地理学会議に参加して—シンポジウム「空間組織の歴史的变化」「地理思想史」を中心に—〕

木下 良：空間組織の歴史的变化

竹内啓一：地理思想史

(要旨 歴128 43~44 1985)

第124回例会 1984年12月15日 於 専修大学

長谷正紀：畿内の四至について—大和・紀伊の境川から—

佐野 充：富士茶の成立とその展開

(要旨 歴128 45~46 1985)

第125回例会 1985年1月19日 於 専修大学

川口 洋：17世紀「大坂地域」における家屋規模

(要旨 歴129 40 1985)

第126回例会 1985年6月8日 於 専修大学

藤原裕治：愛媛県越智・閇前諸島における交通体系の変化と渡海船

立石友男：明治政府の林野政策にともなう海岸砂丘林の変容—山形県庄内砂丘の事例—

(要旨 歴131 46~47 1985)

第127回例会 1985年7月13日 於 専修大学

中藤 淳：江戸町人地における地域的差異

山村順次：明治中後期における四万温泉の入湯客

(要旨 歴130 38~39 1985)

第128回例会〔巡検〕 雨天のため中止

第129回例会 1985年12月21日 於 専修大学

青山宏夫：荘園絵図に表現された空間分割—絵図から見た中世の境界—

吉田敏弘：「四至榜示絵図」考

(要旨 歴133 42~43 1986)

第130回例会 1986年1月25日 於 専修大学

杉山正司：日光御成道の歴史地理学的考察

山本 実：武田信玄の棒道について

(要旨 歴132 38~39 1986)

第131回例会 1986年6月15日

巡検：佐倉城と城下町（案内者、岡田茂弘・山本光正・木下良）

(報告 歴134 52 1986)

第132回例会 1986年9月13日 於 駒沢大学

玉井健三：日本の河川における「玉」の歴史地理

浜田弘明・中里裕司：博物館展示のための市場集落調査—相模原市の上溝市場を事例として—

(要旨 歴135 42~43 1986)

第133回例会 1986年12月13日 於 江東区民センター

阿部 治：連想法を用いた環境認識の把握

畠 聰一郎：婚姻関係からみたムラ

(要旨 歴136 41~42 1987)

第134回例会 1987年1月31日 於 日本大学

田島豊穂：封内経界図誌について

大羅陽一：土地宝典とその特色

(要旨 歴137 42~43 1987)

第135回例会 1987年7月18日 於 駒沢大学

赤地祐一：神奈川県における鉄道網形成に関する一考察

鈴木文彦：第二次世界大戦時における陸上交通の統制とバス事業

(要旨 歴139 38~39 1987)

第136回例会 1987年9月26日 於 国学院大学

矢澤和宏：大井川流域における水神信仰の地域性

矢延洋泰：「混住」化にみるシンガポール民族融和策の道程

(要旨 歴139 40~41 1987)

第137回例会〔巡検〕 雨天のため順延

第138回例会 1988年1月9日 於 駒沢大学

浅香幸雄：近世後期における越中五箇山の家族構成—上梨の場合—

(要旨 歴140 42~43 1988)

第139回例会 1987年12月6日

巡検：川越の蔵と歴史（案内者、伊藤等）

(報告 歴143 55~56 1988)

第140回例会 1988年9月17日 於 駒沢大学

中西僚太郎：明治後期茨城県西部農村の農業・食糧構造—結城郡内の農村・農家を事例として—

山田安彦：歴史地理学の外延一心・食・体・地—

(要旨 歴143 57~60 1988)

第141回例会 1988年12月10日 於 立正大学

初沢敏生：自力更正運動下における農村の地域的動向—現埼玉県所沢市域を事例として—

黒崎千晴：盆地研究の視座

(要旨 歴144 49 1989)

第142回例会 1989年1月21日 於 日本大学

山崎達夫：武州松山城周辺の土地生産性

木下 良：中国陝西省の旅—歴史地理的関心から—

(要旨 歴145 43～44 1989)

第143回例会 1989年6月19日 於 早稲田大学

大崎 晃：駿州焼津にみる鰹漁業組織の形成・展開

中島峰弘：戦前における灌漑による畠作農業の展開

(要旨 歴147 28～29 1989)

第144回例会 1989年9月23日

巡査：本庄・利根川周辺の歴史地理（案内者、田島豊穂）

(報告 歴147 30～31 1989)

第145回例会 1989年11月18日 於 日本大学

馬場 章：表日本における主要漆器産地の生産動向—とくに名古屋市を中心として—

古田悦造：防長地方における農民分解と魚肥流通

(要旨 歴149 45～46 1990)

第146回例会 1990年1月13日 於 駒沢大学

小口千明：方角の吉凶と長さの吉凶—日本の空間認識に関する若干の考察—

中村和郎：函館の古地図と都市構造

(要旨 歴149 47～48 1990)

第147回例会 1990年6月16日 於 東京農業大学

石井雄二：国際化と日本の農村振興の基本的課題—最近の中国農村経済改革の一事例から—

(要旨 歴151 40 1990)

第148回例会 1990年8月24日

巡査：千葉市立博物館見学と千葉の今昔（案内者、山田安彦・山村順次・松村祝男）

(報告 歴151 41～42 1990)

第149回例会 1990年12月1日 於 専修大学

溝口常俊：南アジアにおける定期市の変遷

河野敬一：近代化期における中心地システムの変容—長野県東信・北信地域を事例として—

(要旨 歴153 28～29 1991)

第150回例会 1991年1月19日 於 日本大学

松村祝男：宝暦の検地帳にみるみかん作の生産構造

小金丸研一：『日本書紀』の紀年構成

(要旨 歴153 30～31 1991)

第151回例会 1991年7月6日 於 立正大学

多田統一：明治・大正期における本邦の水産缶詰製造業の近代化

正井泰夫・洪 忠烈：20世紀初頭の東京復原図

(要旨 歴156 29 1991)

第152回例会 1992年10月12日 於 大東文化大学

小口千明：下肥への対応からみた価値転換の具体像一大正・昭和前期の東京西北郊を事例として一  
(要旨 歴158 44 1992)

第153回例会 1991年11月30日 於 日本大学

井村博宣：わが国におけるアユ養殖業の変遷過程

木下 良：坂東の古代交通路再考—近年の発掘成果に基づいて一  
(要旨 歴158 45～46 1992)

第154回例会 1992年1月18日 於 千葉大学

安藤 清・伊藤勝久・戸崎憲一：県史にみる地誌編さんの成果と課題

富岡政治：隔絶山村の近代化過程における鉱山開発の意義—大滝村中津川地区における就業構造の変化を中心に  
(要旨 歴159 51～52 1992)

第155回例会 1992年7月4日 於 早稲田大学

長野 覚：置賜地方に分布する草木（供養）塔の歴史地理学的考察

小口千明：伊豆諸島神津島における仏前樹（シキミ）の栽培と利用

(要旨 歴161 48～50 1992)

第156回例会 1992年11月28日 於 お茶の水女子大学

椿 真智子：日本における近代開拓事業の展開構造—栃木県那須野ヶ原を事例として一

新井桂子：林業村の地域的展開—千葉県山武町を事例として一  
(要旨 歴163 63～64 1993)

第157回例会 1993年2月13日 於 埼玉大学

鄭 光中：植民地時代の朝鮮半島における薬用人参生産の展開過程

田野 宏：北海道における輸送園芸産地の形成過程—タマネギ産地の事例—

中島峰宏：江戸後期～明治前期の畠地灌漑研究メモ  
(要旨 歴164 35～37 1993)

第158回例会 1990年7月3日 於 福岡教育大学

堤 研二：近代の八女地方における茶業と産業組合活動

平岡昭利：大東諸島の領土の確定とその運営  
(要旨 歴165 61～62 1993)

第159回例会 1993年9月4日 於 東京学芸大学

山田志乃布：大阪における町屋敷の集積過程—加島屋長田家を事例として一

中藤 淳：近世松本城下町における町屋敷の変遷過程  
(要旨 歴166 40～41 1993)

第160回例会 1993年12月11日 於 国学院大学

木本雅康：古代方位信仰研究の課題と方法

黒田晃弘：宗教景観の構造把握にむけて  
(要旨 歴168 38～39 1994)

第161回例会 1994年1月22日 於 日本大学

中田栄一：歴史地理学と応用地理学

籠瀬良明：1890年劇作家チエーホフの樺太3か月踏査—地理と文芸などの接触考—  
(要旨 歴169 48～49 1994)

第162回例会 1994年7月23日 於 専修大学

金子晃之：近世後期における江戸行楽地の地域的特色—『江戸名所図絵』からみた行動文化—

福島義和：ロンドン・イーストエンドの地域変容—港湾地区からオフィスセンターへ—

(要旨 歴171 35~36 1994)

第163回例会 1995年1月28日

巡査：武藏野の新田集落再考（案内者、古田悦造・山田志乃布・天野宏司）

(報告 歴174 40~41 1995)

第164回例会 1994年12月10日 於 国学院大学

松尾容孝：林野用益システムの分析と山村地域論

(要旨・討論記録 歴175 58~59 1995)

第165回例会 1995年2月18日 於 千葉商科大学

山田志乃布：近世後期江差地方における追鮮漁の地域的展開

鈴木貞夫：繩張図による初代岩城氏の城と居館の位置の推定

(要旨 歴175 60~61 1995)

第166回例会 1995年7月1日 於 東京都立大学

山根 拓：会社企業と資本家の結合関係からみた近代北海道の空間組織

田村 均：近代後期における染料作物と在来織物業—武州藍を事例として—

## 書評・文献紹介

著者名・書名（評者名）	号	ページ	年
木村礎・伊藤好一著『新田村落-武蔵野とその周辺-』（山寄謹哉）	通8	7-8	1961
シオン,J.Sion『モンスーンアジア』（菊池一雅）	通9	8-9	1961
山寄謹哉著『人文地理学の基礎』（中田栄一）	通10	5-6	1961
奈良女子大学地理学教室編『奈良盆地』（中島義一）	通11	8-9	1961
水野時二著『尾張の歴史地理』上・中（籠瀬良明）	通12	6-7	1962
木村東一郎著『近世村絵図研究』（菊地利夫）	通13	7-8	1962
地理学史研究会編『地理学史研究Ⅱ』（三友国五郎）	通14	13-14	1962
群馬県利根郡川場村編『川場村の歴史と文化』（芥川竜男）	通15	4-5	1962
岩田孝三著『関趾と藩界-その歴史地理的解明-』（浅香幸雄）	通16	7-8	1962
野間三郎著『地理学のあゆみ』（三友国五郎）	通17	7-8	1963
丹生谷章著『日本の民屋 屋根型の地理』（三友国五郎）	通17	8-9	1963
伊藤ていじ著『民家は生きてきた』（佐藤甚次郎）	通18	7-8	1963
小寺廉吉著『庄川峡の変貌』（中田栄一）	通18	8-9	1963
三木与吉郎編『阿波藍譜 栽培製造篇』『阿波藍譜 史話図説篇』（浮田典良）	通19	11-13	1963
谷岡武雄著『平野の地理』（山寄謹哉）	通19	13-14	1963
富山市史編纂委員会『富山市史 3巻』（籠瀬良明）	通19	14-15	1963
北陸電力株式会社『北陸電力10年史』（籠瀬良明）	通19	15-16	1963
菊地利夫著『新田開発』（中島義一）	通20	6-7	1963
樋口節夫著『商業地域論』（福田 徹）	通22	8-11	1964
山寄謹哉編『近世関東の歴史地理』（菊地利夫）	通23	8-9	1964
北陸総合学術調査団著『北陸と海運』（浅香幸雄）	通24	19-21	1964
鏡味完二著『日本の地名』（中島義一）	通25	4-6	1964
大島延次郎著『日本交通史概説』（松村安一）	通26	5-6	1964
西村道男著『海商三代-北前船主西村屋の人びと-』（松村安一）	通26	6-8	1964
日通総合研究所編『日本の輸送革新』（松村安一）	通26	8-9	1964
中島義一著『市場集落』（山寄謹哉）	通27	4-5	1965
鶴藤鹿忠著『岡山の民家』（林 宏）	通28	6-8	1965
室賀信夫・矢守一彦著『「藩談」-漂流の記録-』（木村東一郎）	通30	4-6	1965
鏡味完二著『地名学』（中島義一）	通31	5-6	1965
礪波市史編纂委員会編『礪波市史』（浅香幸雄）	通33	6-8	1966
藤岡謙二郎編『歴史的景観の美』（山寄謹哉）	通33	8-9	1966
浅香幸雄編『日本の歴史地理』（岸本 実）	通34	17-19	1966

高木菊三郎著『日本に於ける地図測量の発達に関する研究』(木村東一郎)	通35	9-10	1966
菊池一雅著『ベトナムの農民』(太田晃舜)	通36	5-6	1966
歴史学研究会編『日本史年表』(浅香幸雄)	通37	7-9	1967
鶴藤鹿忠著『中国の民家』(山崎謹哉)	通38	5-6	1967
藤岡謙二郎・矢守一彦著『歴史地理』(中島義一)	通39	21-22	1967
桜井正信著『歴史と風土 武蔵野』(芥川竜男)	通40	8-10	1967
伊藤好一著『近世在方市の構造』(木村東一郎)	通40	10	1967
織田武雄・末尾至行・応地利明著『西南アジアの農業と農村』(別技篤彦)	通41	6-8	1967
木村東一郎著『江戸時代の地図に関する研究』(室賀信夫)	通41	8-10	1967
松本豊寿著『城下町の歴史地理学的研究』(中島義一)	通42	7	1968
山口恵一郎著『地名の成立』(籠瀬良明)	通44	19-21	1968
西村睦男編『藩領の歴史地理-萩藩-』(菊地利夫)	通45	5-7	1968
渡辺久雄著『条里制の研究』(浅香幸雄)	通46	7-10	1968
日本製粉社史委員会編『日本製粉株式会社七十年史』(中島義一)	通47	6-7	1968
鶴藤鹿忠著『四国の民家』(山崎謹哉)	通47	7-8	1968
中川徳治著『江戸城の歴史地理』(小和田哲男)	通48	11-12	1969
根岸 進著『武蔵野-ある武家の末裔と漂泊民たち-』(菊池万雄)	通48	12	1969
若林喜三郎・矢ヶ崎孝雄編『鶴来商工会70年史』(吉川博康)	通49	23-25	1969
太田晃舜・脇田武光著『人文地理資料選』(木村東一郎)	通49	25-26	1969
調布市役所編『調布市百年史』(菊池万雄)	通50	10-12	1969
藤岡謙二郎編『地形図に歴史を読む』(浅香幸雄)	通51	5-6	1969
和久田康雄著『資料・日本の私鉄』(青木栄一)	通52	5-7	1970
藤岡謙二郎著『国府』(山崎謹哉)	通53	8-10	1970
谷岡武雄・籠瀬良明著『ニッポン再見』(山口恵一郎)	通54	24-26	1970
測量・地図百年史編集委員会編『測量・地図百年史』(清水靖夫)	通55	6-8	1970
南波松太郎・室賀信夫・海野一隆編『日本の古地図』(木村東一郎)	通56	31-32	1970
籠瀬良明・二神弘・富山県地理学研究グループ扇状地同人会編『高度成長下の都市と農村-富山平野を中心とする研究-』(山口恵一郎)	通56	32-34	1970
藤本利治著『門前町』(矢嶋仁吉)	通57	4-6	1971
斎藤貞夫編『新河岸川舟運の盛衰』(丹治健蔵)	通57	6-8	1971
浮田典良著『北西ドイツ農村の歴史地理学的研究』(竹内啓一)	通58	6-8	1971
横山昭市著『香港工業化の研究』(別技篤彦)	通58	8-9	1971
可児弘明著『香港の水上居民』(別技篤彦)	通58	9-10	1971
茨城県郷土文化研究会編『長久保赤水』(籠瀬良明)	通58	10-11	1971
小林克子著『相模国伊勢原、加藤家の文書について』(中島義一)	通59	26-28	1971
矢守一彦著『幕藩社会の地域構造』(山澄 元)	通60	13-16	1971
水野時二著『条里制の歴史地理学的研究』(浅香幸雄)	通60	16-18	1971
助野健太郎・小和田和男著『近江の城下町』(矢守一彦)	通61	8-10	1971
用宗町誌編集委員会編『用宗町誌』(柴田孝夫)	通62	7-9	1972

芦屋市史編集専門委員会編『新修芦屋市史』(松村祝男)	通63	9-11	1972
内田寛一著『近世農村の人口地理的研究』(菊池万雄)	通64	28-29	1972
中川浩一・今城光英・加藤新一・瀬古竜雄著『軽便王国雨宮』(青木栄一)	通64	29-30	1972
藤岡謙二郎編『佐渡の歴史地理』(澤田 清)	通65	9-11	1972
藤岡謙二郎編『過疎化の進む内陸盆地と河谷地域』(山㟢謹哉)	通66	14-16	1972
矢守一彦著『城下町』(菊池万雄)	通66	6-8	1972
清水市編纂委員会編『清水市史資料 現代』(丹治健蔵)	通67	6-8	1973
籠瀬良明著『低湿地-その開発と変容-』(中田栄一)	通67	8-10	1973
安藤慶一郎・矢守一彦著『国境いの村』(川井 寛)	通68	8-10	1973
織田武雄著『地図の歴史』(海野一隆)	通69	26-28	1973
林屋辰三郎・藤岡謙二郎編『宇治市史1 古代の歴史と景観』(小林健太郎)	通70	19-23	1973
石田保昭著『インドの課題』(太田晃舜)	通70	23-24	1973
原田勝正・青木栄一著『日本の鉄道』(中島義一)	通71	10-11	1973
中島健一著『古代オリエント文明の発展と衰退』(菊池一雄)	通71	11-12	1973
富岡儀八著『塩道と高瀬舟-陰陽交通路の発達と都市の構造変化-』(木村辰男)	通72	26-27	1974
新井鎮久著『開発地域の農業地理学的研究』(竹内常行)	通73	19-22	1974
川崎 敏著『木曾』(加藤武夫)	通73	22-23	1974
板倉勝高著『都市の工業と村落の工業』(田村正夫)	報74	22-24	1974
斎藤貞夫編『河岸場の今昔-新河岸川舟運と船問屋「伊勢安」-』(丹治健蔵)	報75	18-19	1974
法政大学封建社会研究会編『田島家文書・第一巻』(中島義一)	報75	20	1974
丹生谷 章著『トルコバスの旅-風物と遺跡を訪ねて-』(田村勝正)	報75	20-21	1974
千田 稔著『埋れた港』(木下 良)	報76	20-23	1974
矢守一彦著『都市図の歴史 (日本編)』(木村東一郎)	報76	23-24	1974
加藤武夫著『新しい愛知県地理-日本の縮図・愛知県の地理的展望-』(川崎 敏)	報77	12-13	1975
太田晃舜著『インドシナの政治地理』(菊池万雄)	報77	13-14	1975
大和英成著『農業地域の変貌過程』(玉井健三)	報78	9-11	1975
伊藤重信著『長島町誌 上巻』(川崎 敏)	報79	18	1975
大越勝秋著『宮座』(浅香幸雄)	報80	20-21	1975
柴田孝夫著『地割の歴史地理学的研究』(中田栄一)	報81	32-33	1975
籠瀬良明著『自然堤防-河岸平野の事例研究-』(山口恵一郎)	報82	21-23	1975
日本大学文理学部地理学教室編『日本大学地理学科五十周年記念論文集-関東とその周辺-』(山口恵一郎)	報83	16-17	1976
高重 進著『古代・中世の耕地と村落』(金田章裕)	報83	17-18	1976
平安博物館考古学第2研究所・渡辺誠編『桑飼下遺跡発掘調査報告書』(籠瀬良明)	報84	22-24	1976
山㟢謹哉著『地理教育の本質と実践』(籠瀬良明)	報84	24-25	1976
静岡中心街誌編集委員会編『静岡中心街誌』(松村祝男)	報85	16-17	1976
中山慶爾著『巡歴中山道』(川崎 敏)	報86	25	1976
山村順次著『志賀高原観光開発史』(中田栄一)	報87	30-34	1976
山田安彦著『古代東北のフロンティア』(福田 徹)	報88	33-37	1976

井下田慶一郎著『引又河岸の三百年』(斎藤貞夫)	報88	38-39	1976
岐阜県・岐阜市『岐阜県史』『岐阜市史』(坪内庄次)	報89	38-39	1977
佐藤甚次郎著『生活文化と土地柄-生活地理学序説-』(太田晃舜)	報89	39-41	1977
谷岡武雄著『聖徳太子の榜示石』(山田安彦)	報90	19-20	1977
桑原公徳著『地籍図』(中島義一)	報91	25	1977
仲松弥秀著『古層の村-沖縄民族文化論-』(池野 茂)	報93	23-24	1977
菊地利夫著『歴史地理学方法論』(山田安彦)	報93	24-25	1977
菊池一雅著『村落共同体の構造-熱帯の社会経済地理学的研究-』(別技篤彦)	報94	28-31	1977
松原義継著『本阿彌輪中』(中島義一)	報94	31-32	1977
山口憲一郎著『地名を考える』(清水靖夫)	報95	27-28	1978
松村祝男著『地域の近代化と果樹作の展開-静岡県下のみかん作を中心として-』(佐々木清治)	報96	33-37	1978
渡辺久雄著『木地師の世界-個人と集団の谷間-』(千葉徳爾)	報98	27-32	1978
伊藤重信著『長島町誌 下巻』(川崎 敏)	報102	26	1979
橋 英雄著『辺境と文化』(樋口正則)	報103	22	1979
山本武雄著『気候の語る日本歴史』(由井浜省吾)	報104	25	1979
富岡儀八著『日本の塩道-その歴史地理学的研究-』(黒崎千晴)	報105	34-35	1979
陳 正祥著『中国歴史與文化地理図冊』(堤 正信)	報106	17	1979
木村東一郎著『村図の歴史地理学』(桑原公徳)	歴110	36-37	1980
豊明市史編纂委員会編『豊明市史 資料編三』(村瀬正章)	歴110	35-36	1980
日本地名学研究所編『日本歴史地名総索引 全3巻』(久保田武)	歴113	42	1981
大越勝秋編『和泉国条里制史料集』(浅香幸雄)	歴114	41-42	1981
侯 仁之著『歴史地理学的理論与実践』(森 勝彦)	歴114	42-43	1981
籠瀬良明著『黒部川扇状地』(菊池万雄)	歴114	43	1981
立命館大学文学部地理学教室・立命館大学地理学同好会編『地表空間の組織 -Spatial Organization-』(高橋誠一)	歴115	51-52	1981
藤岡謙二郎・山嵩謹哉・足利健亮編『日本歴史地理用語辞典』(田村正夫)	歴115	52-53	1981
田中豊治著『水産物流通の地理学的研究』(柿本典昭)	歴118	27-29	1982
David Herlihy et Christiane Klapisch-Zuber 『トスカナ人と家族、1427年フィレンツェ資産台帳の研究』(竹内啓一)	歴118	29-31	1982
斎藤貞夫著『川越舟運-江戸と小江戸を結んで三百年-』(中島義一)	歴119	46-47	1982
渡辺則文編『産業の発達と地域社会-瀬戸内産業史の研究-』(岩崎公弥)	歴120	39-41	1983
新宿区教育委員会編『新宿区地図集、地図で見る新宿区の移り変わり-牛込編、-四谷編』(山田安彦)	歴122	38-40	1983
京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』(栗原尚子)	歴122	40-41	1983
山澄 元著『近世村落の歴史地理』(野崎清孝)	歴123	29-30	1983
前田正名著『平城の歴史地理学的研究』(林 和生)	歴123	30-32	1983
中島健一著『灌漑農法と社会=政治体制』(菊池一雅)	歴123	32-34	1983
奈良県立橿原考古学研究所編『大和国条里復原図-大和国条里の総合的研究-地図編』			

(高重 進)		歴124	36-42	1984
大岩川和正著『現代イスラエルの社会経済構造-パレスチナにおけるユダヤ人入植村の研究-』(千葉立也)		歴124	43-45	1984
谷岡武雄・浮田典良編『歴史地理学プロシーディングス』(磯部啓三)		歴124	45-46	1984
Dept. de Geographie de l'Univ. de Paris - Sorbonne『西ヨーロッパ諸都市の歴史地理』(磯部啓三)		歴126	49	1984
丹治健蔵著『関東河川水運史の研究』(川名 登)		歴127	44-45	1984
川村博忠著『江戸幕府撰国絵図の研究』(矢守一彦)		歴127	45-47	1984
稻荷口遺跡調査委員会編『千葉県富津市飯野陣屋, 稲荷口遺跡調査報告』, 新居町教育委員会編『調査概報遠江新居宿御殿跡遺跡』(中島義一)		歴128	35-36	1985
Guelke,L.『Historical Understanding in Geography : An Idealist Approach』(立岡裕士)		歴128	36-40	1985
菊地利夫著『日本歴史地理概説』(小林健太郎)		歴128	40-42	1985
足利健亮著『中近世都市の歴史地理』(浅香勝輔)		歴129	18-20	1985
小野忠熙博士退官記念出版事業会編『高地性集落と倭国大乱-小野忠熙博士退官記念論集-』(山寄謹哉)		歴129	21-22	1985
中川浩一著『地下鉄の文化史』(竹内啓一)		歴129	22	1985
室賀信男著『古地図抄-日本の地図の歩み-』(青山宏夫)		歴129	22-24	1985
矢守一彦著『古地図と風景』(青山宏夫)		歴129	24-25	1985
山寄謹哉編『近世歴史地理学』(足利健亮)		歴131	40-41	1985
J・ズードマサビュオ著, 菊池一雅・北川光兒共訳『新朝鮮事情』(佐々木史郎)		歴131	41-42	1985
Cosgrove,D.E.『Social Formation and Symbolic Landscape』(原田ひとみ)		歴131	42-45	1985
金田章裕著『オーストラリア歴史地理』(片平博文)		歴133	22-23	1986
高木勇夫著『条里地域の自然環境』(金田章裕)		歴133	23-25	1986
矢ヶ崎孝雄著『九谷焼-産業と文化の歴史-』(菊地一郎)		歴134	43-44	1986
山本弘文編『交通・運輸の発達と技術革新-歴史的考察-』(黒崎千晴)		歴134	45	1986
小林健太郎著『戦国城下町の研究』(水田義一)		歴134	46-47	1986
菊地利夫著『続・新田開発-事例編-』(溝口常俊)		歴134	47-49	1986
山田安彦著『古代の方位信仰と地域計画』(千田 淎)		歴134	49-51	1986
織田武雄監修, 中務哲郎訳『ブトレマイオス地理学』(矢守一彦)		歴135	36-38	1986
福田 徹著『近世新田とその源流』(菊地利夫)		歴135	38-39	1986
佐藤博之・浅香勝輔著『民営鉄道の歴史がある景観 I』(岩鼻通明)		歴135	39-40	1986
八日市市史編さん室編『八日市市の地名と景観』資料集 II』(古田悦造)		歴135	40-41	1986
野洲町史編さん室編『明治の村絵図』古絵図集成』(古田悦造)		歴135	40-41	1986
野田正穂・原田勝正・青木栄一・老川慶喜著『日本の鉄道-成立と展開-』(木村辰男)		歴136	36-38	1987
オギュスタン・ベルク著, 宮原信訳『空間の日本文化』(青山宏夫)		歴136	38-40	1987
金田章裕著『条里と村落の歴史地理学研究』(足利健亮)		歴137	21-23	1987
松山利夫著『山村の文化地理学的研究-日本における山村文化の生態と地域の構造-』(金田章裕)		歴138	43-44	1987

Parker,G 『Western Geopolitical Thought in the Twentieth Century』(立岡裕士)	歴138	44-46	1987
菊池万雄著『近世都市の社会史』(古田悦造)	歴138	46-47	1987
原田勝正著『駅の社会史-日本の近代化と公共空間-』(青木栄一)	歴139	34-37	1987
小山靖憲・佐藤和彦編『絵図にみる莊園の世界』(松尾容孝)	歴140	35-39	1988
長野 覚著『英彦山修験道の歴史地理学的研究』(小田匡保)	歴140	39-41	1988
石原 潤著『定期市の研究 機能と構造』(中島義一)	歴141	33-34	1988
山本正三・北林吉弘・田林明編著『日本の農村空間-変貌する日本農村の地域的構造-』 (浜谷正人)	歴141	34-36	1988
群馬県立文書館編『群馬県行政文書簿冊目録第4集 明治期地図編』(小口千明)	歴141	37	1988
籠瀬良明著『大縮尺で見る平野』(田野 宏)	歴142	32-34	1988
梶本洋哉著『前工業化時代の経済-「防長風土注進案」による数量的接近-』(中西 僚太郎)	歴142	34-37	1988
山村順次著『日本の温泉地-その発展・現状とあり方-』(古田悦造)	歴142	37-38	1988
土木学会中部支部編『国造りの歴史-中部の土木史-』(浮田典良)	歴143	47-48	1988
木下 良著『国府-その変遷を主にして-』(千田 稔)	歴143	48-50	1988
速水 融著『江戸の農民生活史-宗門改帳にみる濃尾の一農村-』(川口 洋)	歴143	50-51	1988
都留市史編纂委員会編『都留市史 資料編 都留郡村絵図・村明細帳集』(橋本直子)	歴143	52-54	1988
佐藤甚次郎著『明治期作成の地籍図』(桑原公徳)	歴144	44-47	1989
矢守一彦著『城下町のかたち』(中島義一)	歴144	47-48	1989
長谷川 一編『あびこ版水戸土浦道中絵図』(小林健太郎)	歴145	36-37	1989
佐藤博之・浅香勝輔著『民営鉄道の歴史がある景観Ⅱ』(青木栄一)	歴145	37-40	1989
木村 礎編『村落景観の史的研究』(古田悦造)	歴145	40-42	1989
石井 實著『地理写真』(青山宏夫)	歴146	29-30	1989
福井市編『福井市史 資料編別巻 絵図・地図』(小野寺 淳)	歴146	30-32	1989
桜井明久著『西ドイツの農業と農村』(浮田典良)	歴147	23-24	1989
東京都公文書館編『東京馬車鉄道』(青木栄一)	歴147	25-27	1989
藤本利治著『歴史時代の集落と交通路-三重県について-』(伊藤安男)	歴148	40-41	1990
石井 實著『地と図-地理の風景-』(岩鼻通明)	歴148	42	1990
中野榮治著『紀伊国の条里制』(服部昌之)	歴149	40-42	1990
立石友男著『海岸砂丘の変貌』(石井英也)	歴149	43-44	1990
神立春樹著『産業革命期における地域編成』(葛西大和)	歴150	35-36	1990
大島襄二・浮田典良・佐々木高明編著『文化地理学』(中川 正)	歴150	37-38	1990
浮田典良編『日本の農山漁村とその変容-歴史地理学的・社会地理学的考察-』(田林 明)	歴151	34-36	1990
小葉田淳監修、金坂清則・海道静香編集・執筆『福井県史 資料編16上 絵図・地図』 (三好唯義)	歴151	36-38	1990
韓国文化歴史地理研究会編『文化歴史地理』創刊号』(古田悦造)	歴151	39	1990
藤岡謙二郎・南出真助・出田和久・野間晴雄著『新訂歴史地理』(日野尚志)	歴153	21-22	1991
森栗茂一著『河原町の民俗地理論』(白石太良)	歴153	23-25	1991

地名情報資料室編『市町村名変遷辞典』(飯島通明)	歴153	26-27	1991
山村順次著『観光地域論-地域形成と環境保全-』(小口千明)	歴154	37-38	1991
川村博忠著『国絵図(日本歴史叢書44)』(長久保光明)	歴154	39-40	1991
G.J.Ashworth and J.E.Tunbridge『The Tourist - Historic City (歴史的觀光都市)』(小長谷一之)	歴155	43-45	1991
千葉御茶屋御殿跡調査会編『千葉御茶屋御殿跡 第3次調査概報』(中島義一)	歴156	26	1991
玉造町史編纂委員会編『常陸紅葉郡鑑』(山崎達夫)	歴156	26-28	1991
伊達宗泰著『日本古代文化圏の形成と伝播』(外山秀一)	歴158	37-39	1992
田中圭一著『帳箱の中の江戸時代史(上)』(溝口常俊)	歴158	39-41	1992
神田市場史続編刊行会編『神田市場史 結巻』(松村祝男)	歴158	42-43	1992
藤井寺市史編纂委員会編『藤井寺市史 第十巻 資料編八・上』(佐藤直行)	歴159	45-46	1992
韓国文化歴史地理学会編『韓国の伝統地理思想』(鄭 光中)	歴159	46-48	1992
河野通博著『光と影の庶民史-瀬戸内に生きた人びと』(古田悦造)	歴159	49-50	1992
前川 要著『都市考古学の研究-中世から近世への展開-』(小林健太郎)	歴160	43-45	1992
日下雅義著『古代景観の復原』(伊藤寿和)	歴160	45-46	1992
長久保光明著『地図史通論』(川村博忠)	歴161	46	1992
鈴木貞夫著『福島の歴史地理研究』(中島義一)	歴161	47	1992
岩鼻通明著『出羽三山信仰の歴史地理学的研究』(長野 覚)	歴163	48-49	1993
手塚 章著『地理学の古典』(佐野 充)	歴163	50-51	1993
福井県編『福井県史 資料編下16・条里復原図』(伊藤寿和)	歴164	33-34	1993
桑原公徳編『歴史景観の復原-地籍図利用の歴史地理-』(古田悦造)	歴165	40-41	1993
山田安彦教授退官記念論文集記念会編『転換期に立つ地域の科学』(礒永和貴)	歴166	34-36	1993
杉浦芳夫著『文学のなかの地理空間-東京とその近傍-』(小田匡保)	歴166	37-39	1993
小浜市史編纂委員会編『小浜市史 第12巻(絵図地図編)』(川村博忠)	歴168	33-34	1994
矢ヶ崎典隆著『移民農業-カリフォルニアの日本人移民社会-』(水嶋一雄)	歴168	34-36	1994
西村幸夫著『歴史を生かしたまちづくり』(青木栄一)	歴168	36-37	1994
野田正穂・原田勝正・青木栄一・老川慶喜編『多摩の鉄道百年』(三木理史)	歴169	46-47	1994
和久田康雄著『私鉄史ハンドブック』(青木栄一)	歴170	26-28	1994
伊藤安男著『治水思想の風土-近世から現代へ-』(吉越昭久)	歴170	28-29	1994
吉田茂樹著『日本歴史地名辞典』(飯島通明)	歴170	30	1994
土田良一著『近世宿駅の歴史地理学的研究』(中島義一)	歴171	34	1994
池野 茂著『琉球山原船水運の展開』(堂前亮平)	歴173	45-47	1995
内田和子著『近代日本の水害地域社会史』(伊藤安男)	歴174	34-35	1995
高橋誠一著『日本古代都市研究』(出田和久)	歴174	36-37	1995
鈴木芳行著『近代東京の水車-「水車台帳」集成-』(天野宏司)	歴174	38-39	1995
山田安彦著『方位と風土』(中島義一)	歴176	55-56	1995
G.Haensch,A.Lallenmand und A.Yaiche『"Kieines Deutschland - Lexikon: Wissenswertes über Land und Leute (ドイツ小辞典-土地と人々について知つておきたいこと)』(小田匡保)	歴176	57-58	1995

## 紙 碑

題名(著者名)	号	ページ	年
鮎沢信太郎会員の逝去を悼む(籠瀬良明)	通 25	6	1964
赤峰倫介氏の急逝をいたむ(池田正友)	通 30	6~7	1965
現代日本歴史地理学の開拓者 内田寛一先生(浅香幸雄)	通 51	6~8	1969
浅沼操さん(佐藤甚次郎)	報 78	11~13	1975
山澄元君の逝去を悼む(服部昌之)	報 84	30	1976
島田豊寿教授を想う(藤岡謙二郎)	報 99	23~24	1978
岡本啓志先生のご逝去を悼む(矢ヶ崎孝雄)	歴111	38	1980
室賀信夫先生の訃(海野一隆)	歴117	39~40	1982
三友国五郎氏の逝去を悼む(米倉二郎・藤岡謙二郎)	歴122	35~37	1983
長井政太郎先生のご逝去を悼む(横 昭一)	歴123	28	1983
伊藤郷平博士の逝去を悼む(浅香幸雄)	歴128	34	1985
藤岡謙二郎先生のご逝去を悼む(山㟢謹哉)	歴133	1	1986
小牧実繁先生の人と学問(米倉二郎)	歴149	1~2	1990
富岡儀八先生の御逝去を悼む(原 秀穎)	歴158	1	1992
野間三郎先生を悼む(早瀬哲恒)	歴160	1	1992
佐々木清治先生の御逝去を悼む(細井淳志郎)	歴161	1	1992
H. C. ダービー博士の訃(小林健太郎・足利健亮)	歴161	41~42	1992
教授 Clifford Darby 卿(Alan R.H. Baker 小林健太郎・足利健亮訳)	歴161	43~45	1992
矢守一彦君の死去を悼む(木下 良)	歴163	1	1993
喜多村俊夫先生のご逝去を悼む(溝口常俊)	歴169	1	1994
矢島仁吉君の生前を偲ぶ(松村安一)	歴171	1	1994
浅香幸雄先生のご逝去を悼む(山村順次)	歴173	1	1995

## 学会役員

### 昭和33・34年度役員

顧問 内田寛一 小牧実繁 古田良一

常任委員長 菊地利夫

会計監査 宮川善造 米倉二郎

常任委員

庶務・会計 中田栄一 松村安一

集会 岩田孝三 籠瀬良明

編集 浅香幸雄 黒崎千晴 別技篤彦

委員 浅香幸雄 浅井得一 鮎沢信太郎 石田 寛 伊藤郷平 伊藤美年 岩田孝三 岩永 実 岩本政教 上島正徳 内田秀雄 大村 肇 小栗 宏 織田武雄 籠瀬良明 川本忠平 菊地利夫 岸本実 喜多村俊夫 工藤吉治郎 黒崎千晴 小寺廉吉 櫻井明俊 佐々木清治 佐藤甚次郎 水津一朗 田中秀作 田村正夫 千葉徳爾 辻田右左男 辻本芳郎 坪内庄次 中田栄一 長井政太郎 西村睦男 二神 弘 別技篤彦 松尾俊郎 松村安一 三浦保寿 御子柴幸一 三友国五郎 宮川善造 村上節太郎 矢嶋仁吉 山寄謹哉 安田初雄 米倉二郎

### 昭和35・36年度役員

顧問 内田寛一 小牧実繁 古田良一

常任委員長 菊地利夫

会計監査 宮川善造 矢嶋仁吉

常任委員

庶務・会計 中田栄一 松村安一 山寄謹哉 芥川竜男 菊池一雅

編集 浅香幸雄 岩田孝三 藤岡謙二郎 三友国五郎 黒崎千晴 中島義一

集会 別技篤彦 籠瀬良明 谷岡武雄 佐藤甚次郎 原沢文弥 菊池万雄

委員 赤峰倫介 浅香幸雄 浅井得一 鮎沢信太郎 芥川竜男 伊藤郷平 岩永 実 岩本政教 岩田孝三 稲見悦治 石田 寛 浮田典良 植村元覚 小野忠熙 小栗 宏 織田武雄 籠瀬良明 川本忠平 菊池万雄 菊池一雅 菊地利夫 喜多村俊夫 岸本 実 黒崎千晴 河野通博 佐藤甚次郎 佐々木清治 清水馨八郎 水津一朗 竹内常行 谷岡武雄 千葉徳爾 辻田右左男 辻本芳郎 土井仙吉 中田栄一 長井政太郎 中島義一 西村嘉助 野間三郎 原沢文弥 藤岡謙二郎 別技篤彦 松尾俊郎 松村安一 三友国五郎 宮川善造 村上節太郎 矢嶋仁吉 山寄謹哉 安田初雄 矢ヶ崎孝雄 米倉二郎 渡辺久雄

### 昭和37・38年度役員

顧問 内田寛一 小牧実繁 古田良一

常任委員長 浅香幸雄

会計監査 米倉二郎 矢嶋仁吉

常任委員

庶務・会計 菊地利夫 中島義一 芥川竜男 谷岡武雄 浮田典良 中田栄一

編集 別技篤彦 三友国五郎 藤岡謙二郎 水津一朗 黒崎千晴 佐藤甚次郎 山㟢謹哉

集会 鮎沢信太郎 籠瀬良明 松村安一 菊池一雅

委員 赤峰倫介 浅香幸雄 浅井得一 鮎沢信太郎 芥川竜男 伊藤郷平 岩永 実 岩本政教 岩田孝三 稲見悦治 石田 寛 浮田典良 植村元覚 小野忠熙 小栗 宏 織田武雄 籠瀬良明 川本忠平 菊池万雄 菊池一雅 菊地利夫 喜多村俊夫 岸本 実 黒崎千晴 河野通博 佐藤甚次郎 佐々木清治 清水馨八郎 水津一朗 竹内常行 谷岡武雄 千葉徳爾 辻田右左男 辻本芳郎 土井仙吉 中田栄一 長井政太郎 中島義一 西村嘉助 野間三郎 原沢文弥 藤岡謙二郎 別技篤彦 松尾俊郎 松村安一 三友国五郎 宮川善造 村上節太郎 矢嶋仁吉 山㟢謹哉 安田初雄 矢ヶ崎孝雄 米倉二郎 渡辺久雄

昭和39・40年度役員

顧問 内田寛一 小牧実繁 古田良一

常任委員長 浅香幸雄

会計監査 矢嶋仁吉 米倉二郎

常任委員

庶務・会計 菊地利夫 水津一朗 谷岡武雄 中島義一 中田栄一 松村安一

編集 織田武雄 籠瀬良明 藤岡謙二郎 三友国五郎 宮川善造 山口恵一郎 山㟢謹哉

集会 板倉勝高 菊池一雅 黒崎千晴 佐藤甚次郎 別技篤彦

委員 赤峰倫介 赤嶺康成 浅井得一 浅香幸雄 鮎沢信太郎 石田 寛 板倉勝高 伊藤郷平 位野木寿一 岩田孝三 浮田典良 植村元覚 小栗 宏 織田武雄 小野忠熙 籠瀬良明 川本忠平 菊池一雅 菊地利夫 岸本 実 喜多村俊夫 木村東一郎 黒崎千晴 工藤吉治郎 河野通博 佐々木清治 佐藤甚次郎 清水馨八郎 水津一朗 末尾至行 竹内常行 谷岡武雄 千葉徳爾 辻本芳郎 土井仙吉 長井政太郎 中島義一 中島健一 中田栄一 中丸和伯 西村嘉助 野間三郎 藤岡謙二郎 別技篤彦 松村安一 三上正利 三友国五郎 宮川善造 村上節太郎 矢嶋仁吉 安田初雄 矢ヶ崎孝雄 山口恵一郎 山㟢謹哉 米倉二郎 渡辺 操 渡辺久雄

昭和41・42年度役員

名誉会員 内田寛一 小牧実繁 古田良一

会長（兼常任委員長） 浅香幸雄

会計監査 織田武雄 米倉二郎

常任委員

庶務・会計 菊地利夫 中田栄一 浮田典良 中島義一 木村東一郎

編集 三友国五郎 別技篤彦 山口恵一郎 藤岡謙二郎 西村嘉助

集会 岸本 実 佐藤甚次郎 籠瀬良明 谷岡武雄 竹内淳彦 黒崎千晴

評議員 赤嶺康成 浅井得一 浅香幸雄 石田 寛 板倉勝高 伊藤郷平 岩田孝三 岩永 実 植村元覚 浮田典良 海野一隆 大村 肇 小栗 宏 織田武雄 小野忠熙 籠瀬良明 菊地利夫 岸本 実

喜多村俊夫 木村東一郎 北林吉弘 黒崎千晴 工藤吉治郎 河野通博 佐々木清治 佐藤甚次郎  
清水馨八郎 水津一朗 竹内淳彦 竹内常行 谷岡武雄 千葉徳爾 辻田右左男 土井仙吉 豊田  
武 長井政太郎 中島義一 中田栄一 西村嘉助 西村睦男 野間三郎 原沢文弥 藤岡謙二郎  
別技篤彦 松村安一 三友国五郎 宮川善造 村上節太郎 矢ヶ崎孝雄 矢嶋仁吉 山口恵一郎  
山寄謹哉 山本正三 矢守一彦 米倉二郎 渡辺 操 渡辺久雄

#### 昭和43・44年度役員

名誉会員 内田寛一 小牧実繁

会長（兼任常任委員長） 浅香幸雄

会計監査 竹内常行 米倉二郎

常任委員

庶務・会計 籠瀬良明 菊池万雄 佐藤甚次郎 澤田 清 谷岡武雄 中田栄一 横口節夫

編 集 浮田典良 太田晃舜 岸本 実 木村東一郎 清水靖夫 藤岡謙二郎 山口恵一郎

集 会 菊地利夫 末尾至行 中島義一 別技篤彦 山口守人 吉川博康 渡辺久雄

評議員 赤嶺康成 浅井得一 浅香幸雄 足利健亮 石田 寛 板倉勝高 伊藤郷平 稲見悦治 岩田孝三  
岩永 実 浮田典良 岡本啓志 小栗 宏 織田武雄 太田晃舜 小野忠熙 籠瀬良明 川崎 敏  
川本忠平 菊池万雄 菊地利夫 岸本 実 喜多村俊夫 木村東一郎 黒崎千晴 河野通博 佐々  
木清治 佐藤甚次郎 澤田 清 清水馨八郎 清水靖夫 水津一朗 竹内常行 谷岡武雄 千葉徳  
爾 辻田右左男 辻本芳郎 土井仙吉 豊田 武 長井政太郎 中島義一 中田栄一 中丸和伯  
西村嘉助 野間三郎 服部昌之 横口節夫 藤岡謙二郎 別技篤彦 松村安一 松本豊寿 三友国  
五郎 三上正利 宮川善造 村上節太郎 矢嶋仁吉 山口恵一郎 山口守人 山寄謹哉 矢守一彦  
米倉二郎 吉川博康 渡辺 操 渡辺久雄

#### 昭和45・46年度役員

名誉会員 小牧実繁

会長（兼任常任委員長） 浅香幸雄

会計監査 米倉二郎 渡辺久雄

常任委員

庶務・会計 石川栄吉 佐藤甚次郎 末尾至行 田村正夫 中田栄一 山口守人

編 集 大脇保彦 籠瀬良明 菊池万雄 澤田 清 清水靖夫 水津一朗 山口恵一郎

集 会 板倉勝高 浮田典良 菊地利夫 木村東一郎 黒崎千晴 中島義一 吉川博康

評議員 赤嶺康成 浅井得一 浅香幸雄 浅沼 操 足利健亮 石川栄吉 石田 寛 板倉勝高 伊藤郷平  
岩田孝三 岩永 実 浮田典良 太田晃舜 大脇保彦 小栗 宏 織田武雄 小野忠熙 籠瀬良明  
菊池万雄 菊地利夫 岸本 実 喜多村俊夫 木村東一郎 黒崎千晴 河野通博 佐藤甚次郎 澤  
田 清 清水靖夫 水津一朗 末尾至行 高重 進 竹内常行 谷岡武雄 田村正夫 千葉徳爾  
土井仙吉 豊田 武 長井政太郎 中島義一 中田栄一 中丸和伯 西村嘉助 野間三郎 藤岡謙  
二郎 別技篤彦 松田 孝 松村安一 三友国五郎 安田初雄 矢嶋仁吉 山口恵一郎 山口守人  
矢ヶ崎孝雄 山寄謹哉 矢守一彦 吉川博康 米倉二郎 渡辺久雄

#### 昭和47・48年度役員

会長（兼常任委員長） 浅香幸雄

会計監査 矢嶋仁吉 米倉二郎

##### 常任委員

庶務・会計 大脇保彦 清水靖夫 水津一朗 丹治健蔵 中田栄一 山口守人

編集 石川栄吉 浮田典良 菊池万雄 佐藤甚次郎 澤田 清 山口恵一郎

集会 足利健亮 籠瀬良明 菊地利夫 田村勝正 中島義一 山崎謹哉 矢守一彦

評議員 赤嶺康成 浅井得一 浅香幸雄 浅沼 操 足利健亮 石川栄吉 石田 寛 板倉勝高 伊藤郷平  
岩田孝三 浮田典良 大脇保彦 小栗 宏 織田武雄 小野忠熙 岡本啓志 籠瀬良明 川崎 敏  
菊池万雄 菊地利夫 岸本 実 喜多村俊夫 木村東一郎 北林吉弘 黒崎千晴 河野通博 佐藤  
甚次郎 澤田 清 柴田孝夫 清水馨八郎 清水靖夫 水津一朗 末尾至行 高野史男 竹内常行  
谷岡武雄 田村勝正 田村正夫 田里友哲 丹治健蔵 千葉徳爾 辻本芳郎 土井仙吉 中島義一  
中田栄一 長井政太郎 西村嘉助 西村睦男 野間三郎 服部昌之 藤岡謙二郎 別技篤彦 松村  
安一 村上節太郎 矢嶋仁吉 山口恵一郎 山口守人 山崎謹哉 山本正三 山澄 元 矢守一彦  
米倉二郎 吉川博康 渡辺久雄

#### 昭和49・50年度役員

会長 藤岡謙二郎

会計監査 竹内常行 矢嶋仁吉

常任委員長 中田栄一

##### 常任委員

庶務・会計 浅香幸雄 井上政一 五味武臣 丹治健蔵 服部昌之 松村祝男 山口守人 山村順次

編集 井出策夫 籠瀬良明 菊池万雄 桑原公徳 澤田 清 立石友男 田辺 裕 山崎謹哉 山口恵一郎

集会 足利健亮 菊地利夫 木下 良 中島義一 田村勝正 山本 実

評議員 浅井得一 浅香幸雄 足利健亮 新井鎮久 有末武夫 石田 寛 板倉勝高 井出策夫 井上政一  
位野木寿一 浮田典良 小栗 宏 織田武雄 籠瀬良明 菊池万雄 菊地利夫 岸本 実 喜多村  
俊夫 木村東一郎 木下 良 桑原公徳 五味武臣 佐藤甚次郎 澤田 清 水津一郎 高野史男  
竹内常行 谷岡武雄 立石友男 田辺 裕 田村勝正 田村正夫 丹治健蔵 田中豊治 千葉徳爾  
中島義一 中田栄一 中丸和伯 長井政太郎 西村嘉助 西村睦男 野間三郎 服部昌之 藤岡謙  
二郎 別技篤彦 松村祝男 三上正利 村上節太郎 矢ヶ崎孝雄 矢嶋仁吉 矢守一彦 山口守人  
山口恵一郎 山崎謹哉 山本 実 山村順次 山澄 元 吉川博康 米倉二郎

#### 昭和51・52年度役員

会長 米倉二郎

会計監査 竹内常行 矢嶋仁吉

常任委員長 中田栄一

##### 常任委員

庶務・会計 浅香幸雄 新井鎮久 犬井 正 小林健太郎 松村祝男 宮口侗迪 山田邦彦

編集（紀要） 浮田典良 籠瀬良明 菊池万雄 菊地利夫 北村嘉行 清水靖夫 山口恵一郎

編集(会報) 青木栄一 木下 良 小林 茂 千田 稔 竹内啓一 立石友男 水嶋一雄 村井誠人 山崎謹哉 山田安彦 山村順次

集会 井出策夫 井上政一 北川建次 澤田 清 田村正夫 中島義一 高重 進 山本 実  
評議員 青木栄一 浅井得一 浅香幸雄 足利健亮 新井鎮久 有末武夫 石田 寛 板倉勝高 井出策夫  
犬井 正 井上政一 浮田典良 大脇保彦 小栗 宏 織田武雄 籠瀬良明 菊池万雄 菊地利夫  
岸本 実 北川建次 喜多村俊夫 北村嘉行 木村東一郎 木下 良 桑原公徳 小林 茂 小林  
健太郎 河野通博 佐藤甚次郎 澤田 清 清水靖夫 水津一朗 千田 稔 高重 進 高野史男  
竹内啓一 竹内常行 立石友男 谷岡武雄 田村勝正 田村正夫 丹治健蔵 千葉徳爾 中島義一  
中田栄一 中丸和伯 長井政太郎 西村嘉助 西村睦男 服部昌之 日野尚志 藤岡謙二郎 別技  
篤彦 水嶋一雄 宮口侗迪 松村祝男 村井誠人 村上節太郎 矢ヶ崎孝雄 矢嶋仁吉 山口守人  
山口恵一郎 山崎謹哉 山田邦彦 山田安彦 山村順次 山本 実 矢守一彦 米倉二郎

#### 昭和53・54年度役員

会長 菊地利夫

会計監査 籠瀬良明 谷岡武雄

常任委員長 山崎謹哉

常任委員 菊池万雄 澤田 清 田村勝正 中島義一 中田栄一 松村祝男 山口恵一郎 山崎謹哉 山田安彦

評議員 青木栄一 浅香幸雄 足利健亮 新井鎮久 石田 寛 石原 潤 板倉勝高 伊藤郷平 浮田典良  
小野忠熙 織田武雄 籠瀬良明 川崎 茂 菊池万雄 岸本 実 木下 良 黒崎千晴 桑原公徳  
小林健太郎 佐藤甚次郎 澤田 清 水津一朗 千田 稔 高重 進 立石友男 谷岡武雄 田村  
勝正 田村正夫 丹治健蔵 千葉徳爾 土井仙吉 中島義一 中田栄一 中丸和伯 長井政太郎  
西村嘉助 西村睦男 服部昌之 藤岡謙二郎 別技篤彦 松村祝男 水野時二 矢ヶ崎孝雄 矢嶋  
仁吉 山口守人 山口恵一郎 山崎謹哉 山田安彦 矢守一彦 米倉二郎

運営委員(\*責任者)

庶務・会計 新井鎮久 飯塚玲子 小倉 真 澤田 清 孫 永律 内藤博夫 松村祝男 水野 清 \*山田  
安彦

編集 \*山口恵一郎

(紀要) 石田 寛 板倉勝高 浮田典良 菊池万雄 清水靖夫 中田栄一 水嶋一雄

(会報) 味沢成吉 伊藤好一 小林 茂 竹内啓一 立石友男 細井淳志郎 山崎謹哉(兼) 山田邦彦  
山中 進 山村順次

集会 青木栄一 足利健亮 井出策夫 井上政一 田村勝正 \*中島義一 橋口政則 山本 実

#### 昭和55・56年度役員

会長 菊地利夫

会計監査 籠瀬良明 千葉徳爾

常任委員長 山崎謹哉

常任委員 黒崎千晴 澤田 清 田村勝正 中島義一 中田栄一 松村祝男 山口恵一郎 山田安彦

評議員 青木栄一 足利健亮 新井鎮久 有末武夫 石田 寛 石原 潤 板倉勝高 浮田典良 海野一隆

小野忠熙 籠瀬良明 菊池万雄 喜多村俊夫 北林吉弘 木下 良 木村東一郎 金田章裕 日下  
雅義 黒崎千晴 桑原公徳 小林健太郎 佐藤甚次郎 澤田 清 水津一朗 末尾至行 千田 稔  
高重 進 高野史男 高橋誠一 竹内啓一 立石友男 谷岡武雄 田村勝正 田村正夫 千葉徳爾  
中島義一 中田栄一 服部昌之 藤岡謙二郎 藤本利治 松村祝男 武藤 直 矢ヶ崎孝雄 矢嶋  
仁吉 山口恵一郎 山寄謹哉 山田安彦 山本正三 矢守一彦 米倉二郎

運営委員（＊責任者）

庶務 新井鎮久 大羅陽一 川上信昭 \*黒崎千晴 長谷正紀 古田悦造

会計 小倉 真 \*澤田 清 田坂行男 田村勝正

編集（紀要） 足利健亮 伊藤 等 菊池万雄 木下 良 清水靖夫 中田栄一 \*山口恵一郎

編集（会報） 片平博文 久保田武 小林 茂 竹内啓一 細井淳志郎 山本 実 \*山田安彦 山村順次  
山寄謹哉

集会 青木栄一 阿部正樹 井出策夫 井上政一 佐藤甚次郎 中島義一 \*松村祝男 橋口政則

昭和57・58年度役員

会長 山寄謹哉

会計監査 板倉勝高 中田栄一

常任委員長 黒崎千晴

常任委員 新井鎮久 竹内啓一 立石友男 田中豊治 田村正夫 古田悦造 細井淳志郎 山村順次

評議員 青木栄一 足利健亮 新井鎮久 石田 寛 板倉勝高 浮田典良 小倉 真 小野忠熙 籠瀬良明  
菊池万雄 菊地利夫 喜多村俊夫 北林吉弘 木下 良 木村東一郎 金田章裕 日下雅義 黒崎  
千晴 桑原公徳 小林健太郎 佐藤甚次郎 澤田 清 水津一朗 末尾至行 千田 稔 高重 進  
高野史男 竹内啓一 立石友男 田中豊治 谷岡武雄 田村勝正 田村正夫 千葉徳爾 永野征男  
中島義一 中田栄一 服部昌之 藤岡謙二郎 藤本利治 古田悦造 細井淳志郎 松村祝男 矢嶋  
仁吉 山口恵一郎 山田安彦 山村順次 山本正三 矢守一彦 米倉二郎

運営委員（＊責任者）

庶務 井上政一 大羅陽一 川上信昭 杉浦和義 田島豊穂 \*田村正夫 福島義和

会計 \*新井鎮久 小倉 真 鈴木康夫 田坂行男 古田悦造

編集（紀要） 小野寺 淳 末尾至行 \*立石友男 田野 宏 土井仙吉 長野 覚

編集（会誌） 磯部啓三 小口千明 片平博文 菊池一雅 栗原尚子 清水靖夫 \*竹内啓一 橋本直子 山  
本光正 山本 実

集会 佐伯保宗 竹内淳彦 \*田中豊治 橋口政則 細井淳志郎 百瀬明宏 山村順次 吉原健一郎

昭和59・60年度役員

会長 山寄謹哉

会計監査 板倉勝高 中田栄一

常任委員長 山田安彦

常任委員 新井鎮久 菊池一雅 木下 良 竹内啓一 立石友男 田村正夫 山口恵一郎 山村順次

評議員 青木栄一 足利健亮 新井鎮久 石田 寛 板倉勝高 浮田典良 小野忠熙 籠瀬良明 菊池万雄  
菊池一雅 菊地利夫 喜多村俊夫 北林吉弘 木下 良 木村東一郎 金田章裕 日下雅義 黒崎

千晴 桑原公徳 小林健太郎 佐藤甚次郎 澤田 清 水津一朗 末尾至行 千田 稔 高重 進  
高野史男 竹内啓一 立石友男 谷岡武雄 田村勝正 田村正夫 千葉徳爾 富岡儀八 中島義一  
中田栄一 長野 覚 服部昌之 橋口節夫 藤岡謙二郎 藤本利治 古田悦造 細井淳志郎 矢嶋仁吉  
山口恵一郎 山崎俊郎 山田安彦 山村順次 山本正三 矢守一彦

運営委員 (\*責任者)

庶務 井上政一 大羅陽一 小口千明 川上信昭 真貝 宏 田島豊穂 \*田村正夫

会計 \*新井鎮久 石井雄二 伊藤 等 小野寺 淳 鈴木康夫 古田悦造 松田松男

編集(紀要) 味沢成吉 小林健太郎 末尾至行 \*立石友男 田野 宏 長野 覚 山口恵一郎

編集(会誌) 磯部啓三 小倉 真 片平博文 菊池一雅 栗原尚子 \*竹内啓一 千葉立也 橋本直子 福島義和 山本光正 吉原健一郎

集会 大嶽幸彦 \*木下 良 桑原公徳 橋口政則 細井淳志郎 水嶋一雄 百瀬明宏 山口守人 山村順次 矢守一彦

昭和61・62年度役員

会長 黒崎千晴

会計監査 佐藤甚次郎 千葉徳爾

常任委員長 木下 良

常任委員 青木栄一 小口千明 小倉 真 中島義一 長野 覚 古田悦造 細井淳志郎 山口恵一郎

評議員 青木栄一 足利健亮 新井鎮久 石田 寛 板倉勝高 浮田典良 小口千明 小倉 真 小野忠熙  
籠瀬良明 菊池万雄 菊池一雅 菊地利夫 喜多村俊夫 木下 良 木村東一郎 金田章裕 日下  
雅義 桑原公徳 小林健太郎 佐藤甚次郎 澤田 清 水津一朗 末尾至行 千田 稔 高重 進  
高野史男 竹内啓一 立石友男 谷岡武雄 田村勝正 田村正夫 千葉徳爾 富岡儀八 中島義一  
中田栄一 長野 覚 服部昌之 橋口節夫 藤本利治 古田悦造 細井淳志郎 矢嶋仁吉 山口  
一郎 山崎謹哉 山崎俊郎 山田安彦 山村順次 山本正三 矢守一彦

運営委員 (\*責任者)

庶務 石川裕之 \*小口千明 大羅陽一 岡村 治 鈴木貴靖 田島豊穂 堤 佳代 原田ひとみ

会計 阿由葉 司 伊藤 等 \*小倉 真 小野寺 淳 河野敬一 鈴木康夫 椿 真智子

編集(紀要) 味沢成吉 石井雄二 岩崎宏之 清水靖夫 末尾至行 細井淳志郎 松田松男 \*山口恵一郎

編集(会誌) \*青木栄一 青山宏夫 足利健亮 小林健太郎 中西僚太郎 橋本直子 福島義和 古田悦造  
森 勝彦 山村順次 山本光正

集会 赤地祐一 井上政一 川口 洋 佐野 充 滝沢由美子 \*中島義一 長野 覚 橋口政則

昭和63・平成元年度役員

会長 黒崎千晴

会計監査 千葉徳爾 矢ヶ崎孝雄

常任委員長 中島義一

常任委員 青木栄一 石井英也 小口千明 小倉 真 小野寺 淳 立石友男 長野 覚 松村祝男

評議員 青木栄一 足利健亮 新井鎮久 石井英也 板倉勝高 岩崎宏之 浮田典良 小口千明 小倉 真  
小野忠熙 小野寺 淳 篠瀬良明 菊池万雄 木下 良 金田章裕 日下雅義 桑原公徳 小林健

太郎 佐藤甚次郎 澤田 清 水津一朗 末尾至行 千田 稔 高重 進 高橋伸夫 竹内啓一  
立石友男 谷岡武雄 田村勝正 田村正夫 千葉徳爾 富岡儀八 中島義一 中田栄一 長野 覚  
服部昌之 橋口節夫 藤本利治 古田悦造 細井淳志郎 松村祝男 矢ヶ崎孝雄 山口恵一郎 山  
寄謹哉 山崎俊郎 山田安彦 山村順次 山本正三 矢守一彦

運営委員 (\*責任者)

庶務 新井桂子 \*小口千明 河野敬一 鈴木 賢 多田統一 立岡裕士 田野 宏  
会計 阿由葉 司 伊藤 等 小林健太郎 \*小倉 真 小野寺 淳 川口 洋  
編集(紀要) 味沢成吉 井村博宣 岩崎宏之 清水靖夫 末尾至行 \*立石友男 細井淳志郎 松田松男  
山口恵一郎  
編集(会誌) \*青木栄一 足利健亮 石井英也 川澄正幸 小林健太郎 坂口慶治 中藤 淳 橋本直子  
福島義和 古田悦造 森 勝彦 山村順次 山本光正  
集会 石井雄二 井上政一 大塚昌利 島方洸一 滝沢由美子 田島豊穂 \*長野 覚 松村祝男 南出  
真助 宮口侗迪

平成2・3・4年度役員

会長 山田安彦  
会計監査 青木栄一 中島義一  
常任委員長 立石友男  
常任委員 新井鎮久 石井英也 小野寺 淳 木下 良 高橋伸夫 田野 宏 田村勝正 古田悦造 松村祝  
男 山村順次  
評議員 足利健亮 新井鎮久 石井英也 板倉勝高 伊藤安男 岩崎宏之 浮田典良 小口千明 小倉 真  
小野忠熙 小野寺 淳 籠瀬良明 菊池万雄 木下 良 金田章裕 日下雅義 桑原公徳 黒崎千  
晴 小林健太郎 佐藤甚次郎 澤田 清 水津一朗 末尾至行 千田 稔 高重 進 高橋誠一  
高橋伸夫 竹内啓一 立石友男 谷岡武雄 田村勝正 田村正夫 田野 宏 田中圭一 千葉徳爾  
富岡儀八 中田栄一 長野 覚 服部昌之 橋口節夫 藤本利治 古田悦造 松村祝男 矢ヶ崎孝  
雄 山口恵一郎 山寄謹哉 山崎俊郎 山村順次 山本正三 矢守一彦

運営委員 (\*責任者)

庶務 \*新井鎮久 小口千明 高杉洋二郎 田野 宏 椿 真智子 山崎達夫  
会計 石井雄二 小倉 真 小野寺 淳 川口 洋 島津俊之 \*高橋伸夫 西沢 豊  
編集 足利健亮 \*石井英也 伊藤寿和 伊藤安男 井村博宣 小田匡保 木下 良 佐野 充 田村勝  
正 日野尚志 古田悦造 水田義一 溝口常俊 山本 充  
集会 新井桂子 大塚昌利 島方洸一 竹内裕一 中里亜夫 福島義和 松村祝男 宮口侗迪 元木 靖  
\*山村順次 脇田武光

平成5・6・7年度役員

会長 中島義一  
会計監査 田村正夫 山田安彦  
常任委員長 服部昌之  
常任委員 青木栄一 新井鎮久 伊藤寿和 伊藤 等 小口千明 小倉 真 佐野 充 服部昌之 古田悦造

矢ヶ崎典隆 山村順次

評議員 青木栄一 足利健亮 新井鎮久 石井英也 石原 潤 伊藤寿和 伊藤 等 伊藤安男 浮田典良  
小口千明 小倉 真 小野寺 淳 金坂清則 菊池万雄 木下 良 金田章裕 日下雅義 黒崎千  
晴 桑原公徳 小林健太郎 五味武臣 佐野 充 島方洸一 末尾至行 千田 稔 高重 進 高  
橋誠一 高橋伸夫 竹内啓一 立石友男 田野 宏 千葉徳爾 椿 真智子 長野 覚 服部昌之  
樋口節夫 福島義和 藤田裕嗣 藤田佳久 古田悦造 松村祝男 水田義一 溝口常俊 元木 靖  
矢ヶ崎典隆 山㟢謹哉 山村順次 山本正三 山本 充 吉田敏弘

運営委員 (\*責任者)

庶務 \*新井鎮久 井村博宣 小倉 真 葛窪理恵 椿 真智子 福島義和 山崎達夫  
会計 伊藤 等 伊藤勝久 小川健太郎 島津俊之 白井 豊 \*山村順次 山本 実  
編集 \*青木栄一 足利健亮 伊藤寿和 伊藤安男 大塚昌利 小口千明 小田匡保 中島峰広 水田義  
一 溝口常俊 矢ヶ崎典隆 山本 充  
集会 上野健一 佐野 充 田野 宏 橋本直子 \*古田悦造 山根 拓 吉田敏弘

平成8・9・10年度役員

会長 服部昌之  
会計監査 中島義一 長野 覚  
常任委員長 青木栄一  
常任委員 青木栄一 石井英也 伊藤寿和 井村博宣 小口千明 小田匡保 小野寺 淳 立石友男 松村祝  
男 矢ヶ崎典隆 吉田敏弘  
評議員 青木栄一 足利健亮 新井鎮久 有薗正一郎 石井英也 石原 潤 伊藤寿和 伊藤 等 伊藤安  
男 井村博宣 岩鼻通明 浮田典良 小口千明 小田匡保 小野寺淳 金坂清則 川村博忠 木下  
良 金田章裕 日下雅義 桑原公徳 小林健太郎 末尾至行 関戸明子 千田 稔 高橋誠一 竹  
内啓一 立石友男 田村正夫 千葉徳爾 椿 真智子 戸祭由美夫 中島峰広 中村和郎 野間晴  
雄 林 和生 藤田裕嗣 藤田佳久 古田悦造 正井泰夫 松村祝男 水田義一 溝口常俊 南出  
真助 矢ヶ崎典隆 山田 誠 山田安彦 山村順次 山本 充 吉田敏弘

運営委員 (\*責任者)

庶務 新井鎮久 井村博宣 川澄正幸 \*立石友男 椿 真智子 山田志乃布  
会計 小川健太郎 小倉 真 小野寺 淳 白井 豊 福島義和 \*松村祝男 山崎達夫  
編集 足利健亮 有薗正一郎 \*石井英也 遠藤匡俊 小田匡保 岡島 建 川村博忠 小林健太郎 中  
島峰広 中西僚太郎 矢ヶ崎典隆 山本 充 吉田敏弘  
集会 磯部啓三 伊藤寿和 内田忠賢 \*小口千明 落合康浩 田島豊穂 橋本直子 林 和生